



【照会先】

大臣官房統計情報部人口動態・保健社会統計課
課長 廣瀬 滋樹 (内線 7461)
課長補佐 藤井 義弘 (内線 7475)
月報調整係 (内線 7476)
(代表電話) 03-5253-1111
(直通電話) 03-3595-2813

平成 26 年 人口動態統計月報年計(概数) の概況

目 次

	頁
調査の概要	1
結果の概要	
1 結果の要約	2
2 出生	
(1) 出生数	4
(2) 合計特殊出生率	6
3 死亡	
(1) 死亡数・死亡率	8
(2) 死因	10
4 婚姻	14
5 離婚	16
統計表	
第1表 人口動態総覧の年次推移	20
第2表 人口動態総覧(率)の年次推移	24
第3表 出生数の年次推移, 母の年齢(5歳階級)別	28
第4表 出生数の年次推移, 出生順位別	28
第5表 死亡率(人口10万対)の年次推移, 性・年齢(5歳階級)別	29
第6表 死亡数・死亡率(人口10万対), 死因簡単分類別	32
第7表 死因順位(1~5位)別死亡数・死亡率(人口10万対), 性・年齢(5歳階級)別	36
第8表 人口動態総覧, 都道府県(21大都市再掲)別	42
第9表 人口動態総覧(率), 都道府県(21大都市再掲)別	44
第10表 主な死因の死亡数・死亡率(人口10万対), 都道府県(21大都市再掲)別	46
参 考	
合計特殊出生率について	48
人口動態総覧(率)の国際比較	52
分母に用いた人口	52

この資料は、厚生労働省のホームページに掲載しています。

(掲載場所 URL) <http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/jinkou/geppo/nengai14/index.html>

調 査 の 概 要

- 1 調査の目的 我が国の人口動態事象を把握し、人口及び厚生労働行政施策の基礎資料を得ることを目的とする。
- 2 調査の対象及び客体 「戸籍法」及び「死産の届出に関する規程」により届け出られた出生、死亡、婚姻、離婚及び死産の全数を対象としているが、本概況では平成 26 年に日本において発生した日本人の事象を客体とした。
- 3 調査の期間 平成 26 年 1 月 1 日～平成 26 年 12 月 31 日
- 4 調査の方法 市区町村長は、出生、死亡、婚姻、離婚及び死産の届書に基づいて人口動態調査票を作成する。
- 5 報告の系統

市区町村	—	保 健 所	—	都 道 府 県	—	厚 生 労 働 省
		└─┬─┘				
		保健所を 設置する市		・特別区		
- 6 結果の集計 集計は、厚生労働省大臣官房統計情報部で行った。

※人口動態調査は、統計法に基づく基幹統計「人口動態統計」を作成するための統計調査である。

＜利用上の注意＞

- 1 印刷公表している人口動態統計の資料は次のとおりである。

人口動態統計速報	人口動態統計月報	人口動態統計年報
数値：調査票を作成した数	数値：概数	数値：確定数（概数に修正を加えたもの）
集計客体：日本における日本人及び 外国人並びに外国における 日本人 (いずれも前年以前発生のもの を含む)	集計客体：日本における日本人 (前年以前発生ものを除く)	集計客体：日本における日本人 (日本における外国人、 外国における日本人及び 前年以前発生ものは別掲)
公表：毎月（調査月の約2か月後）	公表：毎月（調査月の約5か月後） ※ ：毎年（年間合計） （調査年の翌年6月）	公表：毎年（調査年の翌年9月）

※本概況は中央の破線の部分である。

- 2 表章記号の規約

計数のない場合	—
統計項目のあり得ない場合	・
計数不明又は計数を表章することが不適切な場合	…
比率が微小（0.05, 0.005 未満）の場合	0.0, 0.00
減少数（率）の場合	△

なお、掲載の数値は四捨五入してあるので、内訳の合計が「総数」に合わない場合がある。

- 3 用語の説明

自 然 増 減：出生数から死亡数を減じたもの
 乳 児 死 亡：生後1年未満の死亡
 新 生 児 死 亡：生後4週未満の死亡
 早期新生児死亡：生後1週未満の死亡
 死 産：妊娠満12週以後の死児の出産
 周 産 期 死 亡：妊娠満22週以後の死産に早期新生児死亡を加えたもの
 合計特殊出生率：その年次の15歳～49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、1人の女性が仮にその（期間合計特殊出生率）の年次の年齢別出生率で一生の間に生むとしたときの子ども数に相当する。（実際に1人の女性が一生の間に生む子ども数はコーホート合計特殊出生率である。）

- 4 この概況で使用した数値は、平成 25 年以前は確定数である。
- 5 昭和 47 年以前は沖縄県を含まない数値である。昭和 19～21 年は資料不備のため省略した。
- 6 都道府県別の表章は、出生は子の住所、死亡は死亡者の住所、死産は母の住所、婚姻は夫の住所、離婚は別居する前の住所による。

結果の概要

1 結果の要約

(1) 出生数は減少

出生数は100万3532人で、前年の102万9816人より2万6284人減少し、出生率(人口千対)は8.0で前年の8.2を下回った。

出生数を母の年齢(5歳階級)別にみると、20～39歳の各階級では前年より減少しているが、19歳以下及び40歳以上の各階級では前年より増加した。

また、出生順位別にみると、すべての順位で前年より減少した。

(2) 死亡数は増加

死亡数は127万3020人で、前年の126万8436人より4584人増加し、死亡率(人口千対)は10.1で、前年と同率であった。

死因別にみると、死因順位の第1位は悪性新生物(全死亡者に占める割合は28.9%)、第2位は心疾患(同15.5%)、第3位は肺炎(同9.4%)となっており、死亡者のおよそ3.5人に1人は悪性新生物で死亡した。

(3) 自然増減数は減少

出生数と死亡数の差である自然増減数は△26万9488人で、前年の△23万8620人より3万868人減少し、自然増減率(人口千対)は△2.1で、前年の△1.9を下回り、8年連続でマイナスとなった。

自然増減数が増加した都道府県は、沖縄県(5013人)、愛知県(2793人)、滋賀県(463人)であった。

(4) 死産数は減少

死産数は2万3515胎で、前年の2万4102胎より587胎減少し、死産率(出産(出生+死産)千対)は22.9で、前年と同率であった。死産率のうち、自然死産率は10.6で、前年の10.4を上回り、人工死産率は12.3で、前年の12.5を下回った。

(5) 婚姻件数は減少

婚姻件数は64万3740組で、前年の66万613組より1万6873組減少し、婚姻率(人口千対)は5.1で前年の5.3を下回った。

平均初婚年齢は夫31.1歳、妻29.4歳で、夫は前年より0.2歳、妻は前年より0.1歳上昇した。

(6) 離婚件数は減少

離婚件数は22万2104組で、前年の23万1383組より9279組減少し、離婚率(人口千対)は1.77で、前年の1.84を下回った。

表1 人口動態総覧

	実 数			率		平均発生間隔	
	平成26年 概数	平成25年 確定数	対前年増減	平成26年 概数値	平成25年 確定値	平成26年 概数値	平成25年 確定値
出 生	1 003 532	1 029 816	△ 26 284	8.0	8.2	31s	31s
死 亡	1 273 020	1 268 436	4 584	10.1	10.1	25s	25s
乳児死亡	2 081	2 185	△ 104	2.1	2.1	4h 12m 34s	4h 0m 33s
新生児死亡	952	1 026	△ 74	0.9	1.0	9h 12m 6s	8h 32m 17s
自然増減	△ 269 488	△ 238 620	△ 30 868	△ 2.1	△ 1.9	…	…
死 産	23 515	24 102	△ 587	22.9	22.9	22m 21s	21m 48s
自然死産	10 894	10 938	△ 44	10.6	10.4	48m 15s	48m 3s
人工死産	12 621	13 164	△ 543	12.3	12.5	41m 39s	39m 56s
周産期死亡	3 744	3 862	△ 118	3.7	3.7	2h 20m 23s	2h 16m 6s
妊娠満22週 以後の死産	3 033	3 110	△ 77	3.0	3.0	2h 53m 18s	2h 49m 0s
早期新生児 死 亡	711	752	△ 41	0.7	0.7	12h 19m 14s	11h 38m 56s
婚 姻	643 740	660 613	△ 16 873	5.1	5.3	49s	48s
離 婚	222 104	231 383	△ 9 279	1.77	1.84	2m 22s	2m 16s

	平成26年 概数値	平成25年 確定値
合計特殊出生率	1.42	1.43

注：出生・死亡・自然増減・婚姻・離婚率は人口千対。乳児・新生児・早期新生児死亡率は出生千対。死産率は出産(出生+死産)千対。周産期死亡率及び妊娠満22週以後の死産率は出産(出生+妊娠満22週以後の死産)千対である。

2 出生

(1) 出生数

平成26年の出生数は100万3532人で、前年の102万9816人より2万6284人減少し、出生率（人口千対）は8.0で、前年の8.2を下回っている（表1）。

出生数の年次推移をみると、昭和24年の269万6638人をピークに、昭和50年以降は減少と増加を繰り返しながら減少傾向が続いており、平成23年から4年連続で減少している（図1）。

母の年齢（5歳階級）別では、母の年齢が19歳以下及び40歳以上の階級では前年より増加し、出生順位別では、すべての順位で減少している。

母の年齢が40歳以上の出生では、出生数は約5万1千人であり、うち第1子は約2万人で、40歳以上の出生に占める割合は38.6%となっている。（表2）

第1子出生時の母の平均年齢は上昇傾向にあり、平成26年は30.6歳となっている（表3）。

図1 出生数及び合計特殊出生率の年次推移

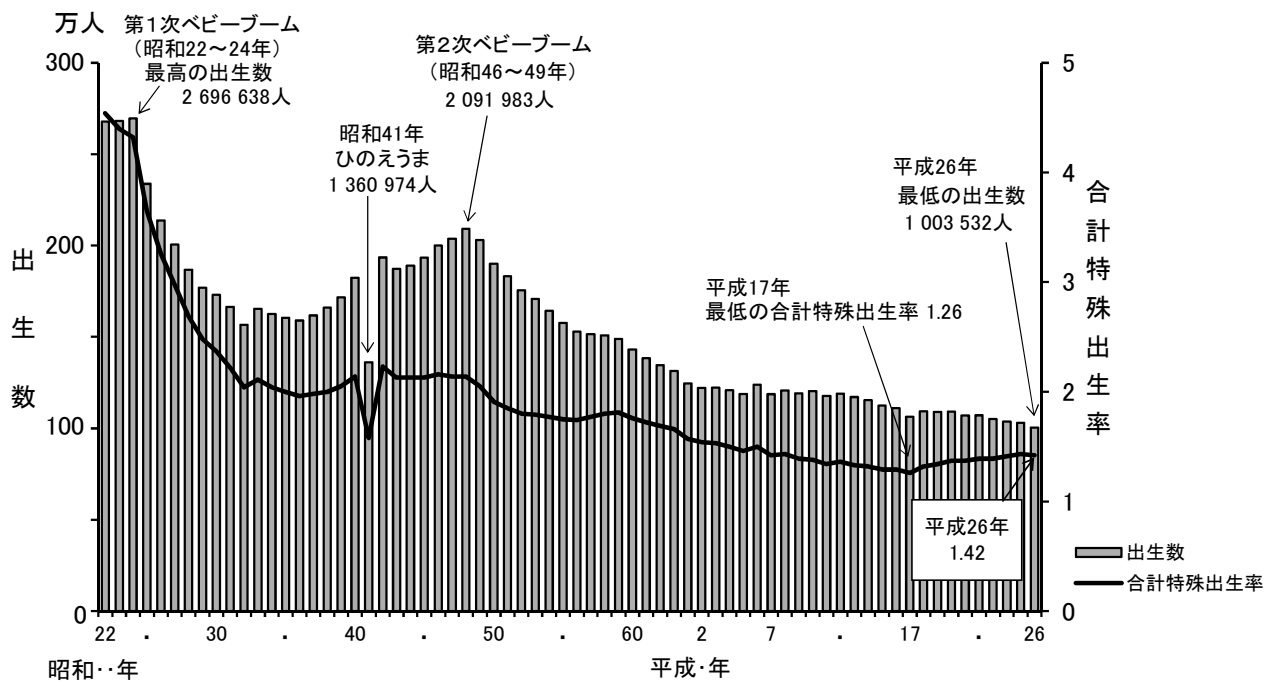


表2 母の年齢（5歳階級）・出生順位別にみた出生数の年次推移

母の年齢	出生数				対前年増減		
	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	24年-23年	25年-24年	26年-25年
総数	1 050 806	1 037 231	1 029 816	1 003 532	△ 13 575	△ 7 415	△ 26 284
～19歳	13 318	12 770	12 964	13 010	△ 548	194	46
20～24	104 059	95 805	91 250	86 587	△ 8 254	△ 4 555	△ 4 663
25～29	300 384	292 464	282 794	267 845	△ 7 920	△ 9 670	△ 14 949
30～34	373 490	367 715	365 404	359 323	△ 5 775	△ 2 311	△ 6 081
35～39	221 272	225 480	229 741	225 888	4 208	4 261	△ 3 853
40～44	37 437	42 031	46 546	49 606	4 594	4 515	3 060
45歳～	843	960	1 116	1 272	117	156	156
第1子	494 712	484 710	481 418	474 191	△ 10 002	△ 3 292	△ 7 227
～19歳	11 900	11 417	11 660	11 617	△ 483	243	△ 43
20～24	69 536	63 625	61 033	58 554	△ 5 911	△ 2 592	△ 2 479
25～29	169 533	163 841	158 323	152 492	△ 5 692	△ 5 518	△ 5 831
30～34	154 997	153 147	152 245	151 727	△ 1 850	△ 902	△ 518
35～39	74 945	76 849	80 051	80 141	1 904	3 202	90
40～44	13 451	15 413	17 609	19 084	1 962	2 196	1 475
45歳～	347	413	496	575	66	83	79
第2子	383 666	382 461	379 466	364 763	△ 1 205	△ 2 995	△ 14 703
～19歳	1 350	1 292	1 240	1 317	△ 58	△ 52	77
20～24	29 120	26 981	25 300	23 243	△ 2 139	△ 1 681	△ 2 057
25～29	97 665	96 211	92 517	85 469	△ 1 454	△ 3 694	△ 7 048
30～34	151 689	149 088	148 301	143 581	△ 2 601	△ 787	△ 4 720
35～39	89 944	93 047	94 263	92 201	3 103	1 216	△ 2 062
40～44	13 671	15 568	17 534	18 602	1 897	1 966	1 068
45歳～	227	274	311	350	47	37	39
第3子以上	172 428	170 060	168 932	164 578	△ 2 368	△ 1 128	△ 4 354
～19歳	68	61	64	76	△ 7	3	12
20～24	5 403	5 199	4 917	4 790	△ 204	△ 282	△ 127
25～29	33 186	32 412	31 954	29 884	△ 774	△ 458	△ 2 070
30～34	66 804	65 480	64 858	64 015	△ 1 324	△ 622	△ 843
35～39	56 383	55 584	55 427	53 546	△ 799	△ 157	△ 1 881
40～44	10 315	11 050	11 403	11 920	735	353	517
45歳～	269	273	309	347	4	36	38

注：総数には母の年齢不詳を含む。

表3 第1子出生時の母の平均年齢の年次推移

	昭和50年	60	平成7年	17	23	24	25	26
平均年齢 (歳)	25.7	26.7	27.5	29.1	30.1	30.3	30.4	30.6

(2) 合計特殊出生率

平成26年の合計特殊出生率は1.42で、前年の1.43を下回っている。

年次推移をみると、平成18年から上昇傾向が続いていたが、平成26年は低下している。

年齢（5歳階級）別にみると、20～29歳の各階級では低下し、15～19歳及び30～49歳の各階級では上昇しており、最も合計特殊出生率が高いのは、30～34歳となっている。（表4-1、図2）

出生順位別にみると、第2子は低下したが、第1子、第3子以上では上昇している（表4-2）。

都道府県別にみると、沖縄県（1.86）、宮崎県（1.69）、島根県（1.66）、長崎県（1.66）、熊本県（1.64）が高く、東京都（1.15）、京都府（1.24）、北海道（1.27）、奈良県（1.27）、宮城県（1.30）が低くなっている（表5、図3）。

表4-1 合計特殊出生率の年次推移（年齢階級別内訳）

年 齢	合 計 特 殊 出 生 率							対前年増減		
	昭和60年	平成7年	17	23	24	25	26	24年-23年	25年-24年	26年-25年
総 数	1.76	1.42	1.26	1.39	1.41	1.43	1.42	0.02	0.02	△ 0.01
15～19 歳	0.0229	0.0185	0.0253	0.0227	0.0219	0.0221	0.0224	△ 0.0008	0.0002	0.0003
20～24	0.3173	0.2022	0.1823	0.1710	0.1607	0.1555	0.1487	△ 0.0103	△ 0.0052	△ 0.0068
25～29	0.8897	0.5880	0.4228	0.4349	0.4325	0.4298	0.4204	△ 0.0024	△ 0.0027	△ 0.0094
30～34	0.4397	0.4677	0.4285	0.4836	0.4916	0.5016	0.5033	0.0080	0.0100	0.0017
35～39	0.0846	0.1311	0.1761	0.2390	0.2525	0.2677	0.2747	0.0135	0.0152	0.0070
40～44	0.0094	0.0148	0.0242	0.0408	0.0448	0.0486	0.0516	0.0040	0.0038	0.0030
45～49	0.0003	0.0004	0.0008	0.0011	0.0012	0.0013	0.0014	0.0001	0.0001	0.0001

注：年齢階級別の数値は各歳別出生率を合計したものであり、15歳及び49歳にはそれぞれ14歳以下、50歳以上を含んでいる。

表4-2 出生順位別にみた合計特殊出生率の年次推移

出生順位	合 計 特 殊 出 生 率							対前年増減		
	昭和60年	平成7年	17	23	24	25	26	24年-23年	25年-24年	26年-25年
総 数	1.76	1.42	1.26	1.39	1.41	1.43	1.42	0.02	0.02	△ 0.01
第 1 子	0.7611	0.6607	0.6240	0.6786	0.6781	0.6871	0.6914	△ 0.0005	0.0090	0.0043
第 2 子	0.6950	0.5209	0.4643	0.4996	0.5095	0.5174	0.5088	0.0099	0.0079	△ 0.0086
第 3 子以上	0.3078	0.2410	0.1717	0.2150	0.2176	0.2221	0.2222	0.0026	0.0045	0.0001

図2 合計特殊出生率の年次推移（年齢階級別内訳）

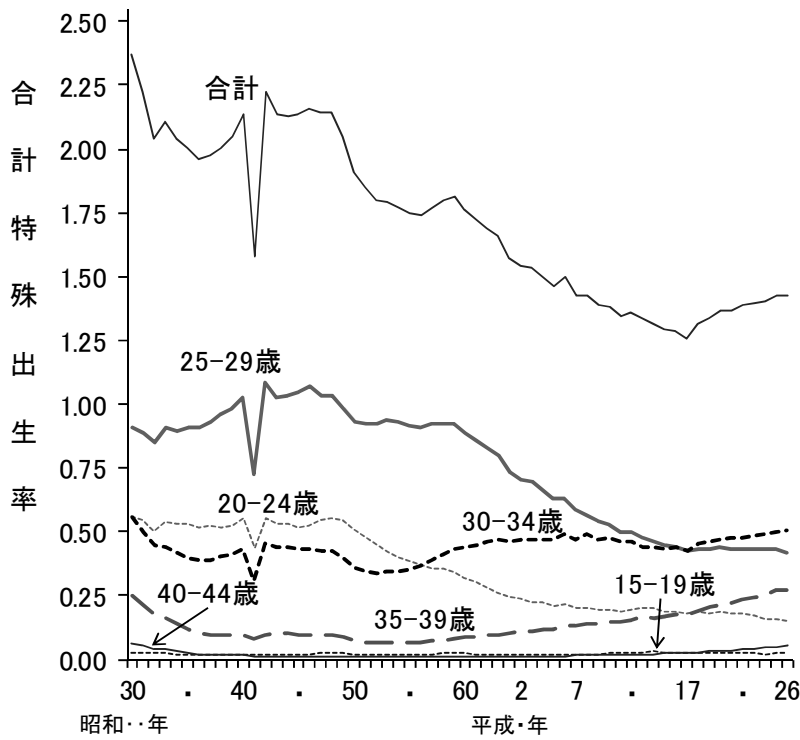


図3 都道府県別合計特殊出生率（平成26年）

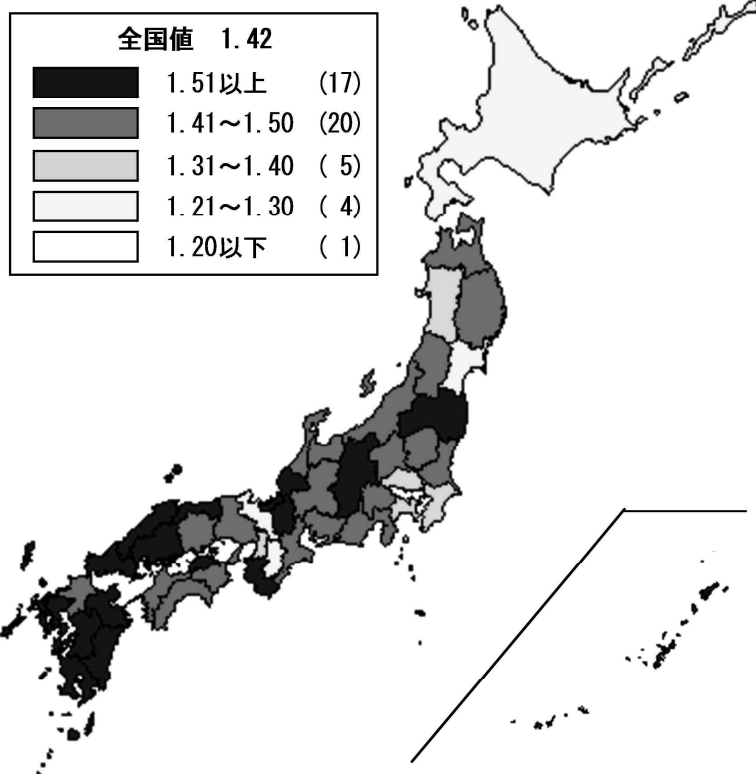


表5 都道府県別にみた合計特殊出生率

都道府県	平成26年	平成25年
全 国	1.42	1.43
北 海 道	1.27	1.28
青 森 県	1.42	1.40
岩 手 県	1.44	1.46
宮 城 県	1.30	1.34
秋 田 県	1.34	1.35
山 形 県	1.47	1.47
福 島 県	1.58	1.53
茨 城 県	1.43	1.42
栃 木 県	1.46	1.43
群 馬 県	1.44	1.41
埼 玉 県	1.31	1.33
千 葉 県	1.32	1.33
東 京 都	1.15	1.13
神 奈 川 県	1.31	1.31
新 潟 県	1.43	1.44
富 山 県	1.45	1.43
石 川 県	1.45	1.49
福 井 県	1.55	1.60
山 梨 県	1.43	1.44
山 崎 野 道	1.54	1.54
岐 阜 県	1.42	1.45
静 岡 県	1.50	1.53
愛 知 県	1.46	1.47
三 重 県	1.45	1.49
滋 賀 県	1.53	1.53
京 都 府	1.24	1.26
大 阪 府	1.31	1.32
兵 庫 県	1.41	1.42
奈 良 県	1.27	1.31
和 歌 山 県	1.55	1.52
鳥 取 県	1.60	1.62
島 根 県	1.66	1.65
岡 山 県	1.49	1.49
広 島 県	1.55	1.57
山 口 県	1.54	1.56
徳 島 県	1.46	1.43
香 川 県	1.57	1.59
愛 媛 県	1.50	1.52
高 知 県	1.45	1.47
福 岡 県	1.46	1.45
佐 賀 県	1.63	1.59
長 崎 県	1.66	1.64
熊 本 県	1.64	1.65
大 分 県	1.57	1.56
宮 崎 県	1.69	1.72
鹿 児 島 県	1.62	1.63
沖 縄 県	1.86	1.94

注：分母に用いた人口は、全国は各歳別日本人人口、都道府県は5歳階級別総人口。

3 死亡

(1) 死亡数・死亡率

平成26年の死亡数は127万3020人で、前年の126万8436人より4584人増加し、死亡率(人口千対)は10.1で前年と同率となっている。

死亡数の年次推移をみると、昭和50年代後半から増加傾向となり、平成15年に100万人を超え、平成23年以降は120万人台となっている。

75歳以上の高齢者の死亡数は、昭和50年代後半から増加しており、平成24年からは全死亡数の7割を超えている。

死亡率(人口10万対)を年齢(5歳階級)別にみると、35歳以上の各年齢階級で前年より低下している。(図4、表6-1)

死亡率性比(男の死亡率/女の死亡率×100)を年齢(5歳階級)別にみると、全年齢階級で100以上となっており、15~29歳と55~79歳の各年齢階級では、男の死亡率が女の死亡率の2倍以上となっている(表6-2)。

図4 死亡数及び死亡率の年次推移

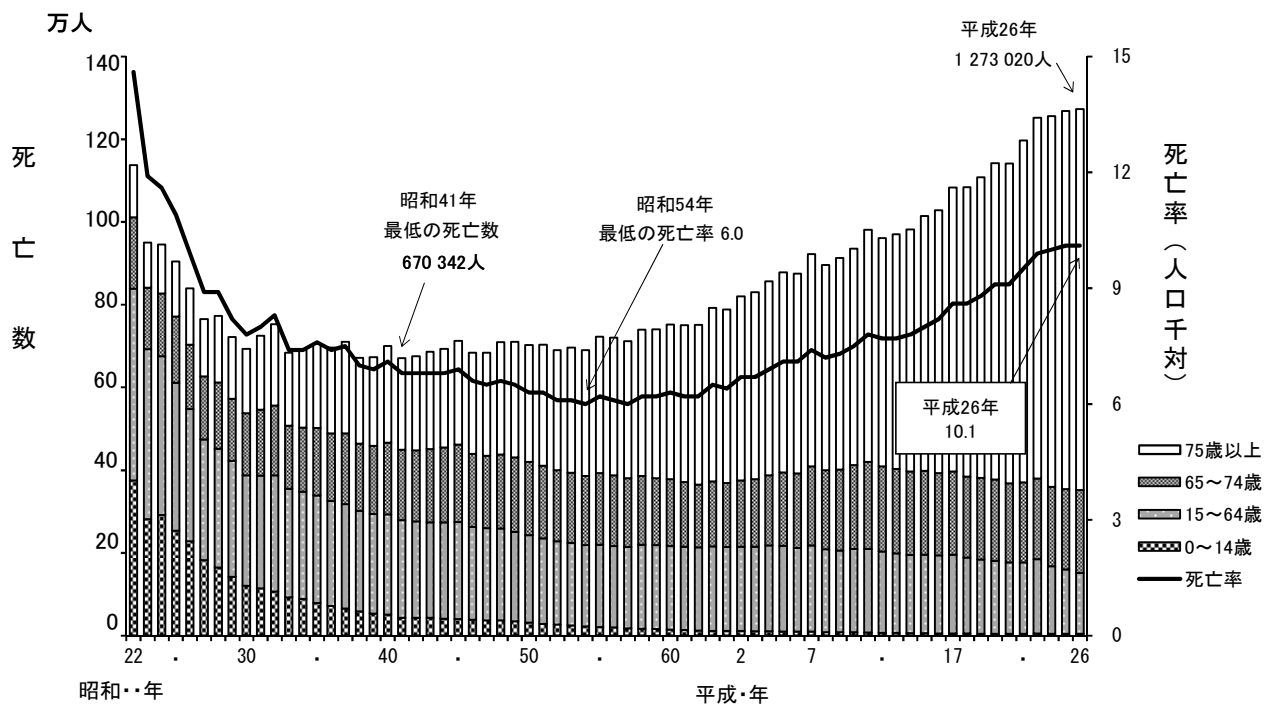


表6-1 年齢（5歳階級）別にみた死亡数・死亡率（人口10万対）

年齢階級	死亡数			死亡率		
	平成26年	平成25年	対前年増減	平成26年	平成25年	対前年増減
総数	1 273 020	1 268 436	4 584	1 014.9	1 009.1	5.8
0～4歳	2 884	2 958	△ 74	55.9	57.0	△ 1.1
5～9	460	453	7	8.7	8.5	0.2
10～14	501	467	34	8.8	8.1	0.7
15～19	1 205	1 268	△ 63	20.3	21.2	△ 0.9
20～24	2 320	2 423	△ 103	38.7	40.4	△ 1.7
25～29	2 873	2 894	△ 21	44.5	43.4	1.1
30～34	3 896	3 909	△ 13	53.5	52.6	0.9
35～39	5 877	6 436	△ 559	69.0	72.2	△ 3.2
40～44	10 064	10 124	△ 60	104.4	106.4	△ 2.0
45～49	13 728	14 053	△ 325	161.9	169.7	△ 7.8
50～54	19 840	20 581	△ 741	258.1	269.5	△ 11.4
55～59	30 313	31 365	△ 1 052	399.9	409.6	△ 9.7
60～64	57 307	62 932	△ 5 625	642.5	655.0	△ 12.5
65～69	85 190	82 495	2 695	935.4	953.3	△ 17.9
70～74	114 863	111 419	3 444	1 455.3	1 473.4	△ 18.1
75～79	156 783	161 275	△ 4 492	2 510.9	2 568.9	△ 58.0
80～84	221 045	224 159	△ 3 114	4 552.9	4 721.1	△ 168.2
85～89	249 725	244 044	5 681	8 177.0	8 363.4	△ 186.4
90～94	186 125	177 392	8 733	14 295.3	14 624.2	△ 328.9
95～99	84 120	85 282	△ 1 162	23 965.8	24 936.3	△ 970.5
100歳以上	23 413	21 979	1 434	39 021.7	39 961.8	△ 940.1

注：総数には年齢不詳を含む。

表6-2 性・年齢（5歳階級）別にみた死亡数・死亡率
（人口10万対）・死亡率性比（平成26年）

年齢階級	死亡数		死亡率		死亡率性比
	男	女	男	女	
総数	660 349	612 671	1 081.8	951.5	113.7
0～4歳	1 543	1 341	58.4	53.4	109.4
5～9	276	184	10.3	7.2	143.1
10～14	318	183	11.0	6.6	166.7
15～19	840	365	27.7	12.6	219.8
20～24	1 665	655	54.1	22.5	240.4
25～29	1 962	911	59.4	28.8	206.3
30～34	2 574	1 322	69.5	37.0	187.8
35～39	3 715	2 162	85.8	51.7	166.0
40～44	6 448	3 616	131.6	76.2	172.7
45～49	8 751	4 977	204.5	118.5	172.6
50～54	12 953	6 887	335.6	179.9	186.5
55～59	20 277	10 036	538.0	263.4	204.3
60～64	39 568	17 739	903.6	390.6	231.3
65～69	59 066	26 124	1 345.2	553.9	242.9
70～74	77 299	37 564	2 103.9	890.1	236.4
75～79	99 064	57 719	3 591.9	1 655.3	217.0
80～84	125 621	95 424	6 482.0	3 272.4	198.1
85～89	116 957	132 768	11 388.2	6 546.7	174.0
90～94	58 662	127 463	18 862.4	12 875.1	146.5
95～99	19 023	65 097	30 682.3	22 524.9	136.2
100歳以上	3 390	20 023	42 375.0	39 260.8	107.9

注：1）総数には年齢不詳を含む。

2）死亡率性比＝男の死亡率／女の死亡率×100

(2) 死因

① 死因順位

平成 26 年の死亡数(死亡率(人口 10 万対))を死因順位別にみると、第 1 位は悪性新生物で 36 万 7943 人(293.3)、第 2 位は心疾患 19 万 6760 人(156.9)、第 3 位は肺炎 11 万 9566 人(95.3)、第 4 位は脳血管疾患で、11 万 4118 人(91.0)となっている(表 7)。

主な死因の年次推移をみると、悪性新生物は一貫して増加しており、昭和 56 年以降死因順位第 1 位となっている。平成 26 年の全死亡者に占める割合は 28.9%であり、全死亡者のおよそ 3.5 人に 1 人は悪性新生物で死亡している。

心疾患は、昭和 60 年に脳血管疾患にかわり第 2 位となり、その後も死亡数・死亡率ともに増加傾向が続き、平成 26 年は全死亡者に占める割合は 15.5%となっている。

肺炎は昭和 55 年に不慮の事故にかわって第 4 位となり、その後も増加傾向が続き、平成 23 年には脳血管疾患にかわり第 3 位となり、平成 26 年の全死亡者に占める割合は 9.4%となっている。

脳血管疾患は、昭和 45 年をピークに減少しはじめ、昭和 56 年には悪性新生物にかわり第 2 位となり、その後も死亡数・死亡率とも減少傾向が続き、昭和 60 年には心疾患にかわって第 3 位、平成 23 年には肺炎にかわり第 4 位となり、平成 26 年の全死亡者に占める割合は 9.0%となっている。(図 5、図 6)

図 5 主な死因別死亡数の割合(平成 26 年)

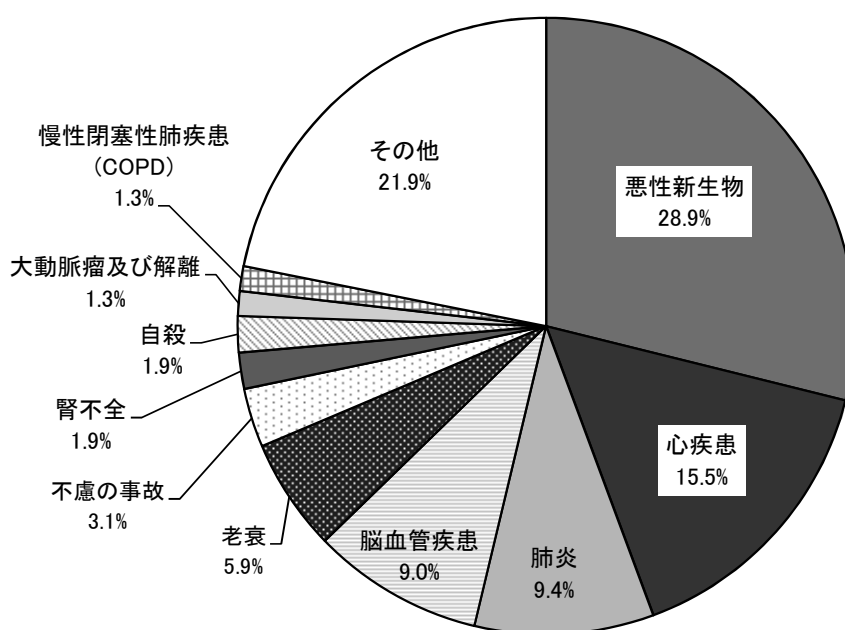
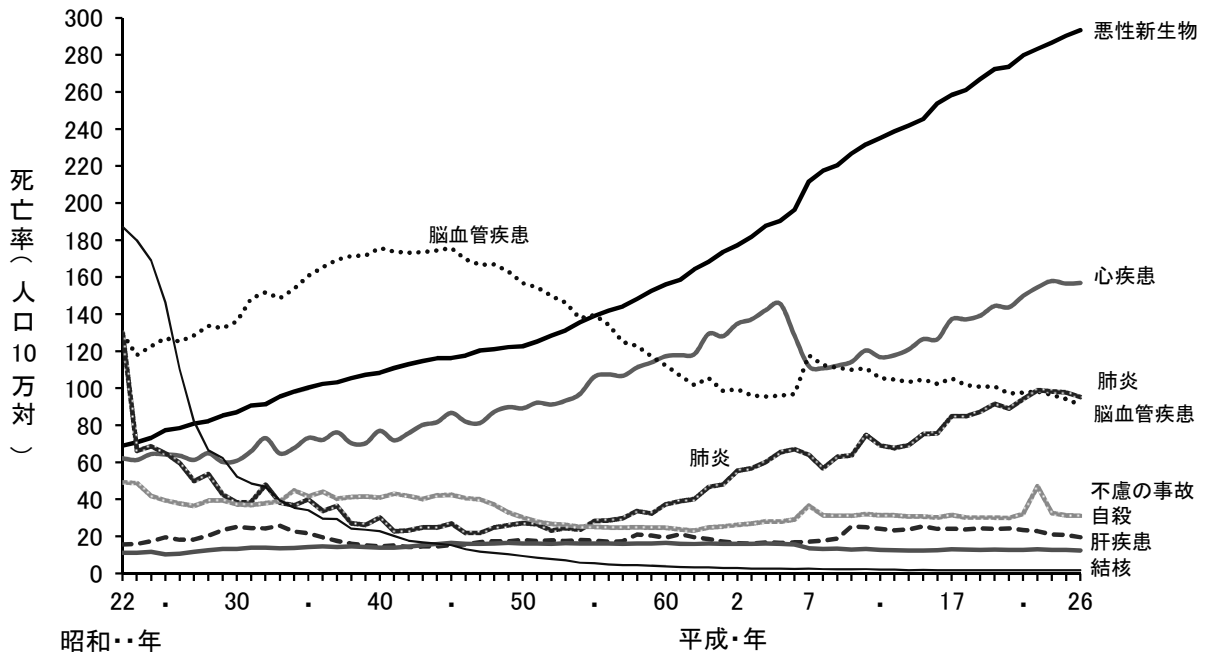


表7 性別にみた死因順位別死亡数・死亡率（人口10万対）

死 因	平成26年						平成25年	
	総 数		男		女		総 数	
	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率
全 死 因	1 273 020	1014.9	660 349	1081.8	612 671	951.5	1 268 436	1009.1
悪 性 新 生 物	(1) 367 943	293.3	(1) 218 301	357.6	(1) 149 642	232.4	(1) 364 872	290.3
心 疾 患	(2) 196 760	156.9	(2) 92 178	151.0	(2) 104 582	162.4	(2) 196 723	156.5
肺 炎	(3) 119 566	95.3	(3) 64 738	106.1	(5) 54 828	85.1	(3) 122 969	97.8
脳 血 管 疾 患	(4) 114 118	91.0	(4) 54 953	90.0	(3) 59 165	91.9	(4) 118 347	94.1
老 衰	(5) 75 340	60.1	(6) 18 297	30.0	(4) 57 043	88.6	(5) 69 720	55.5
不慮の事故	(6) 39 011	31.1	(5) 22 585	37.0	(6) 16 426	25.5	(6) 39 574	31.5
腎不全	(7) 24 747	19.7	(9) 11 919	19.5	(7) 12 828	19.9	(8) 25 101	20.0
自殺	(8) 24 398	19.5	(7) 16 868	27.6	(10) 7 530	11.7	(7) 26 063	20.7
大動脈瘤及び解離	(9) 16 403	13.1	(11) 8 594	14.1	(8) 7 809	12.1	(10) 16 105	12.8
慢性閉塞性肺疾患 (COPD)	(10) 16 160	12.9	(8) 12 982	21.3	(20) 3 178	4.9	(9) 16 443	13.1

注：1) () 内の数字は死因順位を示す。
 2) 男の10位は「肝疾患」で死亡数は10 007、死亡率は16.4である。
 3) 女の9位は「血管性及び詳細不明の認知症」で死亡数は7 560、死亡率は11.7である。
 4) 「結核」は死亡数が2 099、死亡率は1.7で第26位となっている。
 5) 「熱中症」は死亡数が526、死亡率は0.4である。

図6 主な死因別にみた死亡率の年次推移



注：1) 平成6・7年の心疾患の低下は、死亡診断書（死体検案書）（平成7年1月施行）において「死亡の原因欄には、疾患の終末期の状態としての心不全、呼吸不全等は書かないでください」という注意書きの施行前からの周知の影響によるものと考えられる。
 2) 平成7年の脳血管疾患の上昇の主な要因は、ICD-10（平成7年1月適用）による原死因選択ルールの明確化によるものと考えられる。

② 年齢別死因

性・年齢（5歳階級）別に主な死因の構成割合をみると、5～9歳では悪性新生物及び不慮の事故、10～14歳では悪性新生物及び自殺、15～29歳では自殺及び不慮の事故、30～49歳では悪性新生物及び自殺がそれぞれ多くなっている。年齢が高くなるにしたがって、悪性新生物の占める割合が高くなり、男では65～69歳で、女では55～59歳でピークとなっている。（図7-1）

1歳未満の乳児死亡数は10年連続で3000人を下回り、死因別構成割合では、男女とも「先天奇形、変形及び染色体異常」の占める割合が多くなっている（図7-2）。

図7-1 性・年齢階級別にみた主な死因の構成割合（平成26年）

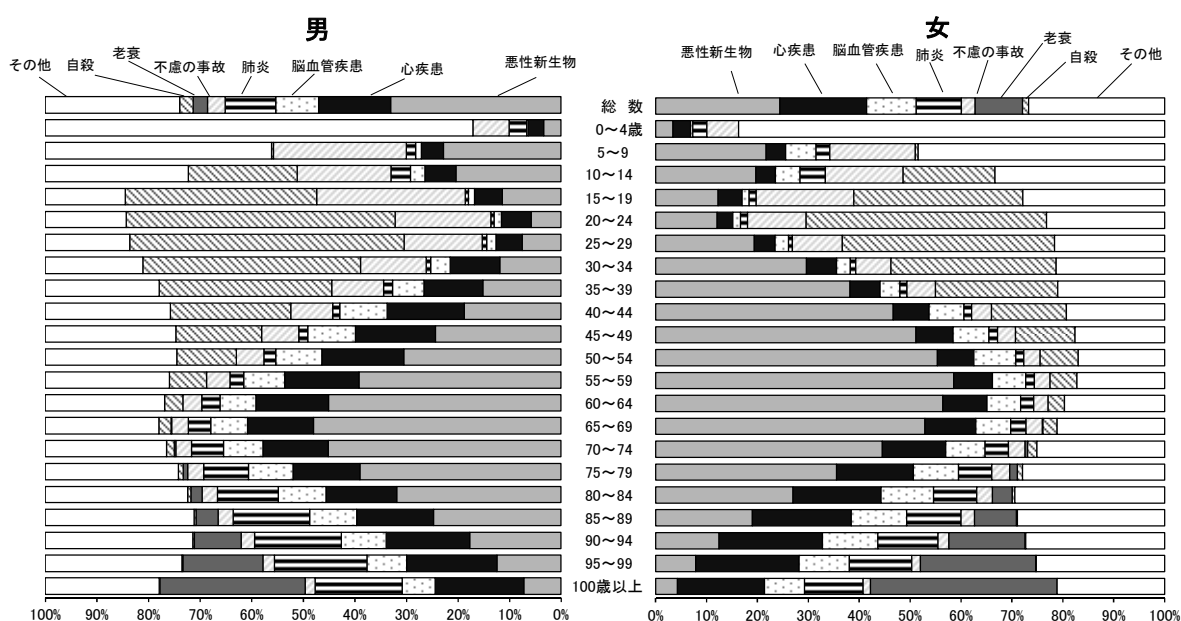
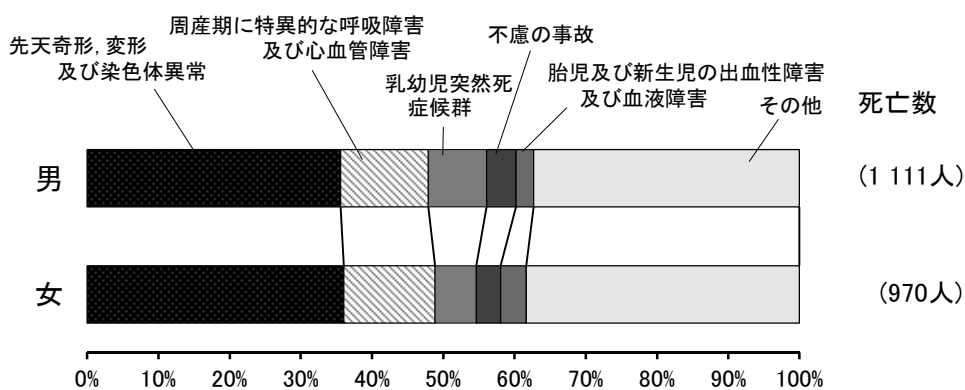


図7-2 乳児死亡の主な死因の構成割合（平成26年）



③ 部位別にみた悪性新生物

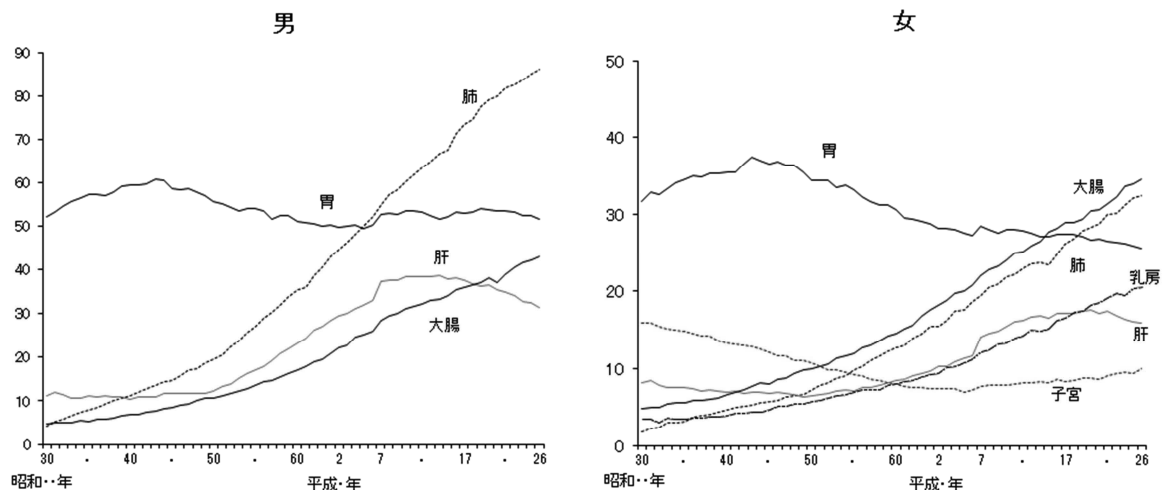
悪性新生物の主な部位別に死亡率（人口10万対）をみると、男では「肺」がもっとも高く、平成5年以降第1位となり、平成26年の死亡数は5万2493人、死亡率は86.0となっている。女では「大腸」と「肺」が高く、「大腸」は平成15年以降第1位となり、平成26年の死亡数は2万2297人、死亡率は34.6となっている。（表8、図8）

表8 悪性新生物の主な部位別にみた死亡数・死亡率（人口10万対）

部位	昭和40年	50	60	平成7年	17	23	24	25	26
死 亡 数									
男									
胃	28 636	30 403	30 146	32 015	32 643	32 785	32 206	31 978	31 472
肝	5 006	6 677	13 780	22 773	23 203	20 972	20 060	19 816	19 197
肺	5 404	10 711	20 837	33 389	45 189	50 782	51 372	52 054	52 493
大腸	3 265	5 799	10 112	17 312	22 146	24 862	25 529	25 808	26 164
女									
胃	17 749	19 454	18 756	18 061	17 668	17 045	16 923	16 654	16 418
肝	3 499	3 696	5 192	8 934	11 065	10 903	10 630	10 359	10 331
肺	2 321	4 048	7 753	12 356	16 874	19 511	20 146	20 680	20 880
乳房	1 966	3 262	4 922	7 763	10 721	12 731	12 529	13 148	13 234
子宮	6 689	6 075	4 912	4 865	5 381	6 075	6 113	6 033	6 428
大腸	3 335	5 654	8 926	13 962	18 684	20 882	21 747	21 846	22 297
死 亡 率 （ 人 口 10 万 対 ）									
男									
胃	59.4	55.6	51.1	52.6	53.0	53.3	52.5	52.3	51.6
肝	10.4	12.2	23.3	37.4	37.7	34.1	32.7	32.4	31.4
肺	11.2	19.6	35.3	54.8	73.3	82.6	83.8	85.1	86.0
大腸	6.8	10.6	17.1	28.4	35.9	40.5	41.6	42.2	42.9
女									
胃	35.5	34.4	30.6	28.5	27.4	26.3	26.2	25.8	25.5
肝	7.0	6.5	8.5	14.1	17.1	16.8	16.4	16.1	16.0
肺	4.6	7.2	12.7	19.5	26.1	30.1	31.2	32.1	32.4
乳房	3.9	5.8	8.0	12.2	16.6	19.7	19.4	20.4	20.6
子宮	13.4	10.7	8.0	7.7	8.3	9.4	9.5	9.4	10.0
大腸	6.7	10.0	14.6	22.0	28.9	32.3	33.6	33.9	34.6

注：大腸の悪性新生物は、結腸の悪性新生物と直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物を示す。

図8 悪性新生物の主な部位別死亡率（人口10万対）の年次推移



4 婚姻

平成26年の婚姻件数は64万3740組で、前年の66万613組より1万6873組減少し、婚姻率（人口千対）は5.1で、前年の5.3を下回っている。

婚姻件数の年次推移をみると、昭和47年の109万9984組をピークに、昭和50年代以降は増加と減少を繰り返しながら推移し、平成26年は平成25年に引き続き減少している。（図9）

初婚の妻の年齢（各歳）別に婚姻件数の構成割合を10年ごとに比較すると、ピーク時の年齢が上昇するとともに、その年齢の占める割合が低下し、高い年齢の割合が上昇している（図10）。

年齢（5歳階級）別に妻の初婚率（女性人口千対）をみると、前年に比べ20～34歳の各年齢階級で低下しているが、35～39歳では上昇している（表9）。

平成26年の平均初婚年齢は、夫31.1歳、妻29.4歳で、前年より夫は0.2歳、妻は0.1歳上昇している（表10-1）。

これを都道府県別にみると、平均初婚年齢が最も低いのは、夫が佐賀県の29.9歳、妻が福島県の28.4歳であり、最も高いのは夫・妻とも東京都で、夫32.3歳、妻30.5歳となっている（表10-2）。

再婚件数の割合をみると、夫19.3%、妻は16.6%で、夫と妻ともに、前年より0.1ポイント上昇している（表11）。

図9 婚姻件数及び婚姻率の年次推移

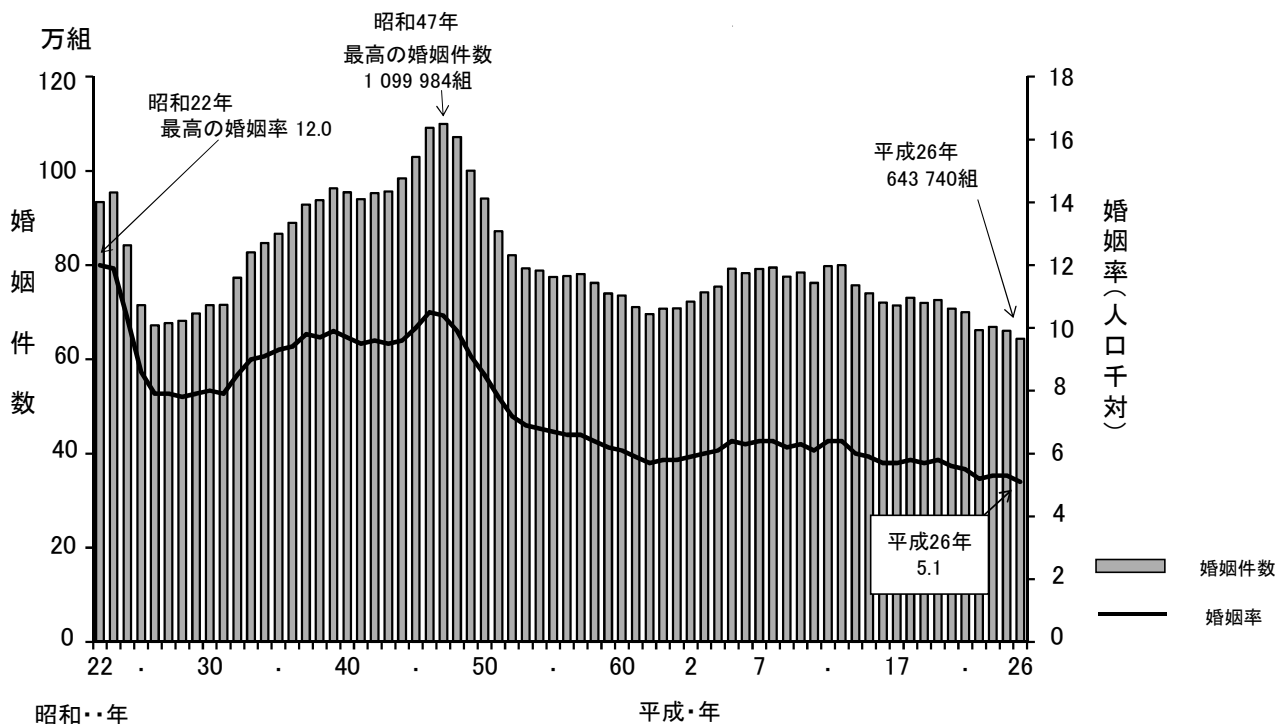
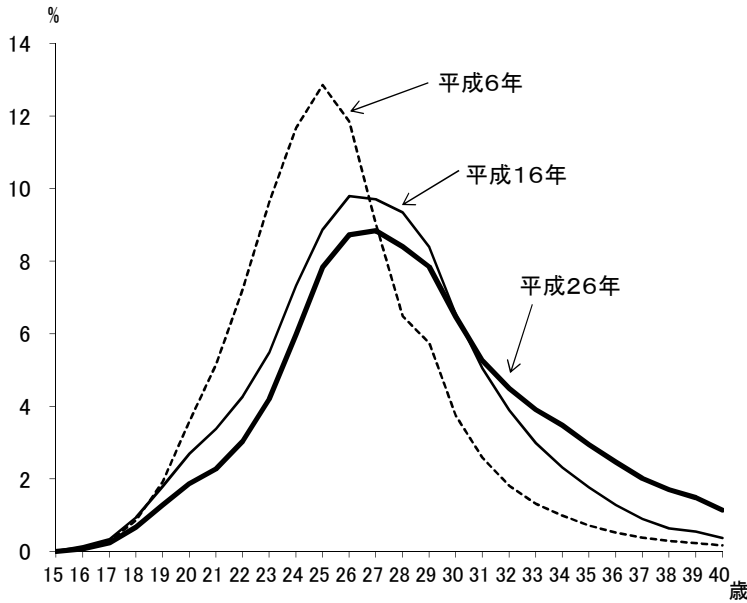


図 10 初婚の妻の年齢（各歳）別婚姻件数の構成割合



注：各届出年に結婚生活に入ったもの。

表 9 年齢（5歳階級）別にみた妻の初婚率（女性人口千対）の年次推移

	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳
平成 6 年	49.54	70.02	17.42	3.54
16	34.20	59.41	23.58	6.58
22	32.02	60.37	28.46	9.72
23	29.48	58.04	27.80	9.68
24	28.70	59.27	29.15	10.50
25	27.86	59.41	29.76	11.04
26	26.49	58.56	29.31	11.25

注：各届出年に結婚生活に入ったもの。

表 11 全婚姻件数に対する再婚件数の割合の年次推移

	夫	妻
	%	%
平成 6 年	12.9	11.4
16	17.8	15.9
22	18.5	16.2
23	18.8	16.4
24	19.0	16.4
25	19.2	16.5
26	19.3	16.6

表 10-1 平均初婚年齢の年次推移

		夫	妻
		歳	歳
平成	6 年	28.5	26.2
	16	29.6	27.8
	22	30.5	28.8
	23	30.7	29.0
	24	30.8	29.2
	25	30.9	29.3
	26	31.1	29.4

注：各届出年に結婚生活に入ったもの。

表 10-2 都道府県別にみた平均初婚年齢（平成 26 年）

都道府県	夫	妻
	歳	歳
北海道	30.7	29.2
青森	30.6	29.0
岩手	30.6	28.9
宮城	30.8	29.2
秋田	31.0	29.2
山形	30.3	28.7
福島	30.2	28.4
茨城	30.8	29.0
栃木	30.7	28.9
群馬	30.8	29.0
埼玉	31.4	29.5
千葉	31.4	29.5
東京都	32.3	30.5
神奈川県	31.8	30.0
新潟	30.8	29.1
富山	31.0	29.2
石川	30.8	29.1
福井	30.2	28.7
山梨	31.1	29.3
長野	31.4	29.5
岐阜	30.6	28.8
静岡県	31.0	29.1
愛知県	30.8	28.9
三重	30.5	28.7
滋賀	30.5	29.0
京都	31.3	29.7
大阪	31.0	29.5
兵庫県	30.8	29.3
奈良	31.0	29.4
和歌山	30.3	28.8
鳥取	30.7	29.0
島根	30.7	28.9
岡山	30.4	28.7
広島	30.5	29.0
山口	30.2	28.7
徳島	30.4	28.9
香川	30.3	28.9
愛媛	30.3	28.8
高知	30.6	29.4
福岡	30.7	29.2
佐賀	29.9	28.5
長崎	30.4	29.1
熊本	30.3	28.8
大分	30.5	29.1
宮崎	30.1	28.7
鹿児島	30.5	29.0
沖縄	30.3	29.0

注：平成26年に結婚生活に入ったもの。

5 離婚

平成 26 年の離婚件数は 22 万 2104 組で、前年の 23 万 1383 組より 9279 組減少し、離婚率（人口千対）は 1.77 で、前年の 1.84 を下回っている。

離婚件数の年次推移をみると、昭和 39 年以降毎年増加を続けたが、昭和 59 年から減少している。平成に入ってから再び増加傾向にあったが、平成 14 年の 28 万 9836 組をピークに減少傾向が続いている。（図 11）

同居期間別に離婚件数をみると、すべての同居期間で減少している（表 12、図 12）。

図 11 離婚件数及び離婚率の年次推移

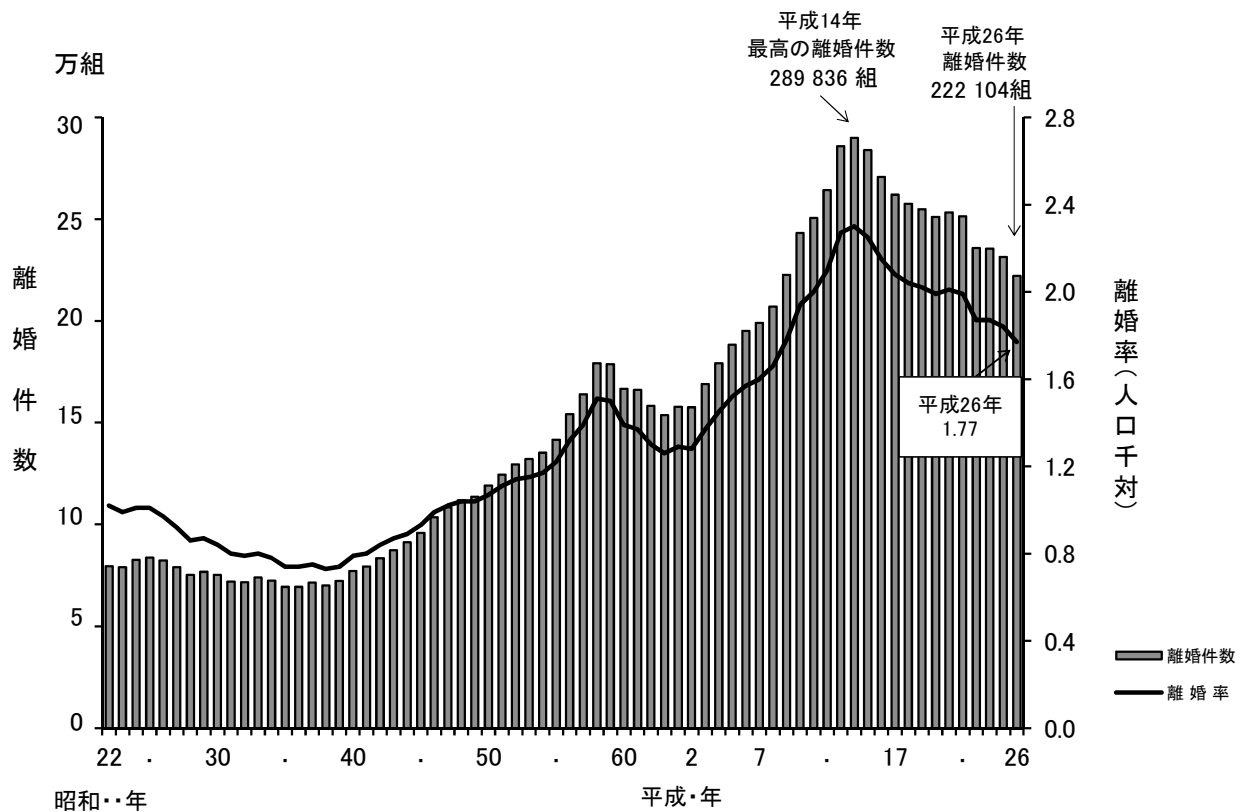
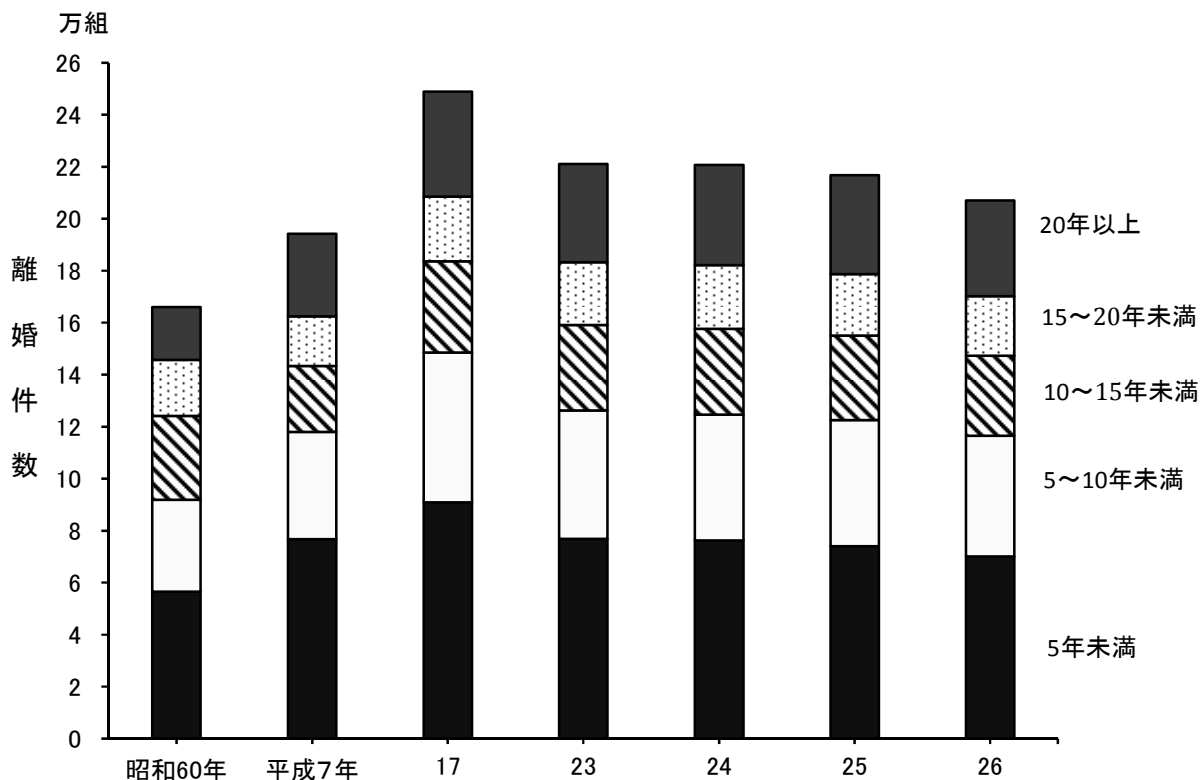


表 12 同居期間別離婚件数の年次推移

同居期間	昭和60年	平成7年	17	23	24	25	26	対前年(26年-25年)	
								増減数	増減率
総数	166 640	199 016	261 917	235 719	235 406	231 383	222 104	△ 9 279	△ 4.0
5年未満	56 442	76 710	90 885	76 893	76 128	74 034	70 054	△ 3 980	△ 5.4
1年未満	12 656	14 893	16 558	14 594	14 459	14 333	13 499	△ 834	△ 5.8
1～2	12 817	18 081	20 159	16 935	16 810	16 374	15 779	△ 595	△ 3.6
2～3	11 710	16 591	19 435	16 563	16 010	15 423	14 909	△ 514	△ 3.3
3～4	10 434	14 576	18 144	14 989	14 961	14 533	13 488	△ 1 045	△ 7.2
4～5	8 825	12 569	16 589	13 812	13 888	13 371	12 379	△ 992	△ 7.4
5～10年未満	35 338	41 185	57 562	49 218	48 437	48 422	46 388	△ 2 034	△ 4.2
10～15年未満	32 310	25 308	35 093	32 978	33 047	32 554	30 839	△ 1 715	△ 5.3
15～20年未満	21 528	19 153	24 885	24 133	24 463	23 660	22 906	△ 754	△ 3.2
20年以上	20 434	31 877	40 395	37 791	38 557	38 032	36 770	△ 1 262	△ 3.3
20～25年未満	12 706	17 847	18 401	16 497	17 324	17 045	16 535	△ 510	△ 3.0
25～30	4 827	8 684	10 747	10 137	10 149	9 678	9 381	△ 297	△ 3.1
30～35	1 793	3 506	6 453	5 244	5 163	5 203	5 034	△ 169	△ 3.2
35年以上	1 108	1 840	4 794	5 913	5 921	6 106	5 820	△ 286	△ 4.7

注：総数には同居期間不詳を含む。

図 12 同居期間別離婚件数の年次推移



統計表

第1表 人口動態総覧の年次推移 (2-1)

年次		出生数	死亡数	(再掲)		自然増減数
				乳児死亡数	新生児死亡数	
1899	明治 32年	1 386 981	932 087	213 359	108 077	454 894
1900	33	1 420 534	910 744	220 211	112 259	509 790
1901	34	1 501 591	925 810	225 107	115 794	575 781
1902	35	1 510 835	959 126	232 652	116 654	551 709
1903	36	1 489 816	931 008	226 982	112 909	558 808
1904	37	1 440 371	955 400	218 756	106 477	484 971
1905	38	1 452 770	1 004 661	220 450	103 382	448 109
1906	39	1 394 295	955 256	214 148	105 307	439 039
1907	40	1 614 472	1 016 798	244 300	118 617	597 674
1908	41	1 662 815	1 029 447	262 801	123 867	633 368
1909	42	1 693 850	1 091 264	283 436	129 629	602 586
1910	43	1 712 857	1 064 234	276 136	126 910	648 623
1911	44	1 747 803	1 043 906	276 798	127 302	703 897
1912	大正 元年	1 737 674	1 037 016	268 025	123 902	700 658
1913	2	1 757 441	1 027 257	267 281	124 213	730 184
1914	3	1 808 402	1 101 815	286 678	125 745	706 587
1915	4	1 799 326	1 093 793	288 634	125 337	705 533
1916	5	1 804 822	1 187 832	307 283	132 000	616 990
1917	6	1 812 413	1 199 669	313 872	139 717	612 744
1918	7	1 791 992	1 493 162	337 919	145 710	298 830
1919	8	1 778 685	1 281 965	303 202	129 072	496 720
1920	9	2 025 564	1 422 096	335 613	139 681	603 468
1921	10	1 990 876	1 288 570	335 143	136 342	702 306
1922	11	1 969 314	1 286 941	327 604	132 856	682 373
1923	12	2 043 297	1 332 485	333 930	135 504	710 812
1924	13	1 998 520	1 254 946	312 267	126 385	743 574
1925	14	2 086 091	1 210 706	297 008	121 238	875 385
1926	昭和 元年	2 104 405	1 160 734	289 275	119 642	943 671
1927	2	2 060 737	1 214 323	292 084	116 240	846 414
1928	3	2 135 852	1 236 711	293 881	115 682	899 141
1929	4	2 077 026	1 261 228	295 178	115 009	815 798
1930	5	2 085 101	1 170 867	258 703	104 101	914 234
1931	6	2 102 784	1 240 891	276 584	108 812	861 893
1932	7	2 182 742	1 175 344	256 505	104 573	1 007 398
1933	8	2 121 253	1 193 987	257 251	102 887	927 266
1934	9	2 043 783	1 234 684	255 063	103 408	809 099
1935	10	2 190 704	1 161 936	233 706	97 994	1 028 768
1936	11	2 101 969	1 230 278	245 357	101 043	871 691
1937	12	2 180 734	1 207 899	230 701	95 465	972 835
1938	13	1 928 321	1 259 805	220 695	89 159	668 516
1939	14	1 901 573	1 268 760	202 018	84 204	632 813
1940	15	2 115 867	1 186 595	190 509	81 869	929 272
1941	16	2 277 283	1 149 559	191 420	77 829	1 127 724
1942	17	2 233 660	1 166 630	190 897	76 177	1 067 030
1943	18	2 253 535	1 213 811	195 219	76 588	1 039 724
1947	22	2 678 792	1 138 238	205 360	84 204	1 540 554
1948	23	2 681 624	950 610	165 406	73 855	1 731 014
1949	24	2 696 638	945 444	168 467	72 432	1 751 194
1950	25	2 337 507	904 876	140 515	64 142	1 432 631
1951	26	2 137 689	838 998	122 869	58 686	1 298 691
1952	27	2 005 162	765 068	99 114	51 015	1 240 094
1953	28	1 868 040	772 547	91 424	47 580	1 095 493
1954	29	1 769 580	721 491	78 944	42 726	1 048 089

注： *印は概数である。

年 次		出 生 数	死 亡 数	(再 乳児死亡数	掲) 新生児死亡数	自然増減数
1955	昭和 30 年	1 730 692	693 523	68 801	38 646	1 037 169
1956	31	1 665 278	724 460	67 691	38 232	940 818
1957	32	1 566 713	752 445	62 678	33 847	814 268
1958	33	1 653 469	684 189	57 052	32 237	969 280
1959	34	1 626 088	689 959	54 768	30 235	936 129
1960	35	1 606 041	706 599	49 293	27 362	899 442
1961	36	1 589 372	695 644	45 465	26 255	893 728
1962	37	1 618 616	710 265	42 797	24 777	908 351
1963	38	1 659 521	670 770	38 442	22 965	988 751
1964	39	1 716 761	673 067	34 967	21 344	1 043 694
1965	40	1 823 697	700 438	33 742	21 260	1 123 259
1966	41	1 360 974	670 342	26 217	16 296	690 632
1967	42	1 935 647	675 006	28 928	19 248	1 260 641
1968	43	1 871 839	686 555	28 600	18 326	1 185 284
1969	44	1 889 815	693 787	26 874	17 116	1 196 028
1970	45	1 934 239	712 962	25 412	16 742	1 221 277
1971	46	2 000 973	684 521	24 805	16 450	1 316 452
1972	47	2 038 682	683 751	23 773	15 817	1 354 931
1973	48	2 091 983	709 416	23 683	15 473	1 382 567
1974	49	2 029 989	710 510	21 888	14 472	1 319 479
1975	50	1 901 440	702 275	19 103	12 912	1 199 165
1976	51	1 832 617	703 270	17 105	11 638	1 129 347
1977	52	1 755 100	690 074	15 666	10 773	1 065 026
1978	53	1 708 643	695 821	14 327	9 628	1 012 822
1979	54	1 642 580	689 664	12 923	8 590	952 916
1980	55	1 576 889	722 801	11 841	7 796	854 088
1981	56	1 529 455	720 262	10 891	7 188	809 193
1982	57	1 515 392	711 883	9 969	6 425	803 509
1983	58	1 508 687	740 038	9 406	5 894	768 649
1984	59	1 489 780	740 247	8 920	5 527	749 533
1985	60	1 431 577	752 283	7 899	4 910	679 294
1986	61	1 382 946	750 620	7 251	4 296	632 326
1987	62	1 346 658	751 172	6 711	3 933	595 486
1988	63	1 314 006	793 014	6 265	3 592	520 992
1989	平成 元年	1 246 802	788 594	5 724	3 214	458 208
1990	2	1 221 585	820 305	5 616	3 179	401 280
1991	3	1 223 245	829 797	5 418	2 978	393 448
1992	4	1 208 989	856 643	5 477	2 905	352 346
1993	5	1 188 282	878 532	5 169	2 765	309 750
1994	6	1 238 328	875 933	5 261	2 889	362 395
1995	7	1 187 064	922 139	5 054	2 615	264 925
1996	8	1 206 555	896 211	4 546	2 438	310 344
1997	9	1 191 665	913 402	4 403	2 307	278 263
1998	10	1 203 147	936 484	4 380	2 353	266 663
1999	11	1 177 669	982 031	4 010	2 137	195 638
2000	12	1 190 547	961 653	3 830	2 106	228 894
2001	13	1 170 662	970 331	3 599	1 909	200 331
2002	14	1 153 855	982 379	3 497	1 937	171 476
2003	15	1 123 610	1 014 951	3 364	1 879	108 659
2004	16	1 110 721	1 028 602	3 122	1 622	82 119
2005	17	1 062 530	1 083 796	2 958	1 510	△ 21 266
2006	18	1 092 674	1 084 450	2 864	1 444	8 224
2007	19	1 089 818	1 108 334	2 828	1 434	△ 18 516
2008	20	1 091 156	1 142 407	2 798	1 331	△ 51 251
2009	21	1 070 035	1 141 865	2 556	1 254	△ 71 830
2010	22	1 071 304	1 197 012	2 450	1 167	△ 125 708
2011	23	1 050 806	1 253 066	2 463	1 147	△ 202 260
2012	24	1 037 231	1 256 359	2 299	1 065	△ 219 128
2013	25	1 029 816	1 268 436	2 185	1 026	△ 238 620
2014	* 26	1 003 532	1 273 020	2 081	952	△ 269 488

第1表 人口動態総覧の年次推移 (2-2)

年次		死産数			2) 周産期死亡数	婚姻件数	離婚件数	3) 周産期死亡数
		総数	自然死産	人工死産				
1899	明治 32年	135 727	297 372	66 545	...
1900	33	137 987	346 528	63 828	...
1901	34	155 489	378 457	63 442	...
1902	35	157 708	394 165	64 139	...
1903	36	153 920	370 961	65 392	...
1904	37	147 058	398 930	63 913	...
1905	38	142 092	350 898	60 061	...
1906	39	149 731	352 857	65 398	...
1907	40	158 814	432 949	61 058	...
1908	41	162 676	461 254	60 226	...
1909	42	161 576	437 882	58 936	...
1910	43	157 392	441 222	59 432	...
1911	44	155 319	433 117	58 067	...
1912	大正 元年	147 545	430 422	59 143	...
1913	2	147 769	431 287	59 536	...
1914	3	145 692	452 932	59 992	...
1915	4	141 301	445 210	59 943	...
1916	5	139 998	433 680	60 254	...
1917	6	140 328	447 970	55 812	...
1918	7	142 507	500 580	56 474	...
1919	8	132 939	480 136	56 812	...
1920	9	144 038	546 207	55 511	...
1921	10	138 301	519 217	53 402	...
1922	11	132 244	515 916	53 053	...
1923	12	133 863	512 689	51 212	...
1924	13	125 839	513 130	51 770	...
1925	14	124 403	521 438	51 687	...
1926	昭和 元年	124 038	502 847	50 119	...
1927	2	116 922	487 850	50 626	...
1928	3	120 191	499 555	49 119	...
1929	4	116 971	497 410	51 222	...
1930	5	117 730	506 674	51 259	...
1931	6	116 509	496 574	50 609	...
1932	7	119 579	515 270	51 437	...
1933	8	114 138	486 058	49 282	...
1934	9	113 043	512 654	48 610	...
1935	10	115 593	556 730	48 528	...
1936	11	111 056	549 116	46 167	...
1937	12	111 485	674 500	46 500	...
1938	13	99 528	538 831	44 656	...
1939	14	98 349	554 321	45 970	...
1940	15	102 034	666 575	48 556	...
1941	16	103 400	791 625	49 424	...
1942	17	95 448	679 044	46 268	...
1943	18	92 889	743 842	49 705	...
1947	22	123 837	934 170	79 551	...
1948	23	1) 143 963	*104 325	* 31 055	...	953 999	79 032	...
1949	24	1) 192 677	*114 161	* 75 585	...	842 170	82 575	...
1950	25	216 974	106 594	110 380	...	715 081	83 689	108 843
1951	26	217 231	101 237	115 994	...	671 905	82 331	99 865
1952	27	203 824	94 508	109 316	...	676 995	79 021	91 527
1953	28	193 274	89 751	103 523	...	682 077	75 255	85 932
1954	29	187 119	87 201	99 918	...	697 809	76 759	79 776

注：*印は概数である。

- 1) 昭和23年、24年の死産には自然・人工死産の不詳を含む。
- 2) 妊娠満22週以後の死産に早期新生児死亡を加えたものである。
- 3) 妊娠満28週以後の死産に早期新生児死亡を加えたものである。

年 次		死 産 数			2) 周産期死亡数	婚姻件数	離婚件数	3) (参考) 周産期死亡数
		総 数	自然死産	人工死産				
1955	昭和 30 年	183 265	85 159	98 106	...	714 861	75 267	75 918
1956	31	179 007	86 558	92 449	...	715 934	72 040	75 706
1957	32	176 353	86 895	89 458	...	773 362	71 651	70 502
1958	33	185 148	92 282	92 866	...	826 902	74 004	72 625
1959	34	181 893	92 688	89 205	...	847 135	72 455	69 912
1960	35	179 281	93 424	85 857	...	866 115	69 410	66 552
1961	36	179 895	96 032	83 863	...	890 158	69 323	65 063
1962	37	177 363	97 256	80 107	...	928 341	71 394	62 650
1963	38	175 424	97 711	77 713	...	937 516	69 996	60 049
1964	39	168 046	97 357	70 689	...	963 130	72 306	56 827
1965	40	161 617	94 476	67 141	...	954 852	77 195	54 904
1966	41	148 248	83 253	64 995	...	940 120	79 432	42 583
1967	42	149 389	90 938	58 451	...	953 096	83 478	50 846
1968	43	143 259	87 381	55 878	...	956 312	87 327	45 921
1969	44	139 211	85 788	53 423	...	984 142	91 280	43 419
1970	45	135 095	84 073	51 022	...	1 029 405	95 937	41 917
1971	46	130 920	83 827	47 093	...	1 091 229	103 595	40 900
1972	47	125 154	81 741	43 413	...	1 099 984	108 382	38 754
1973	48	116 171	78 613	37 558	...	1 071 923	111 877	37 598
1974	49	109 738	74 618	35 120	...	1 000 455	113 622	34 383
1975	50	101 862	67 643	34 219	...	941 628	119 135	30 513
1976	51	101 930	64 046	37 884	...	871 543	124 512	27 133
1977	52	95 247	60 330	34 917	...	821 029	129 485	24 708
1978	53	87 463	55 818	31 645	...	793 257	132 146	22 217
1979	54	82 311	51 083	31 228	36 190	788 505	135 250	20 481
1980	55	77 446	47 651	29 795	32 422	774 702	141 689	18 385
1981	56	79 222	46 296	32 926	30 274	776 531	154 221	16 531
1982	57	78 107	44 135	33 972	28 204	781 252	163 980	15 303
1983	58	71 941	40 108	31 833	25 925	762 552	179 150	14 035
1984	59	72 361	37 976	34 385	25 149	739 991	178 746	12 998
1985	60	69 009	33 114	35 895	22 379	735 850	166 640	11 470
1986	61	65 678	31 050	34 628	20 389	710 962	166 054	10 148
1987	62	63 834	29 956	33 878	18 699	696 173	158 227	9 317
1988	63	59 636	26 804	32 832	16 839	707 716	153 600	8 508
1989	平成 元年	55 204	24 558	30 646	15 183	708 316	157 811	7 450
1990	2	53 892	23 383	30 509	13 704	722 138	157 608	7 001
1991	3	50 510	22 317	28 193	10 426	742 264	168 969	6 544
1992	4	48 896	21 689	27 207	9 888	754 441	179 191	6 321
1993	5	45 090	20 205	24 885	9 226	792 658	188 297	5 989
1994	6	42 962	19 754	23 208	9 286	782 738	195 106	6 134
1995	7	39 403	18 262	21 141	8 412	791 888	199 016	5 526
1996	8	39 536	18 329	21 207	8 080	795 080	206 955	5 321
1997	9	39 546	17 453	22 093	7 624	775 651	222 635	4 974
1998	10	38 988	16 936	22 052	7 447	784 595	243 183	4 927
1999	11	38 452	16 711	21 741	7 102	762 028	250 529	4 665
2000	12	38 393	16 200	22 193	6 881	798 138	264 246	4 562
2001	13	37 467	15 704	21 763	6 476	799 999	285 911	4 238
2002	14	36 978	15 161	21 817	6 333	757 331	289 836	4 224
2003	15	35 330	14 644	20 686	5 929	740 191	283 854	3 995
2004	16	34 365	14 288	20 077	5 541	720 417	270 804	3 671
2005	17	31 818	13 502	18 316	5 149	714 265	261 917	3 492
2006	18	30 911	13 424	17 487	5 100	730 971	257 475	3 420
2007	19	29 313	13 107	16 206	4 906	719 822	254 832	3 306
2008	20	28 177	12 625	15 552	4 720	726 106	251 136	3 178
2009	21	27 005	12 214	14 791	4 519	707 734	253 353	3 096
2010	22	26 560	12 245	14 315	4 515	700 214	251 378	3 065
2011	23	25 751	11 940	13 811	4 315	661 895	235 719	2 961
2012	24	24 800	11 448	13 352	4 133	668 869	235 406	2 759
2013	25	24 102	10 938	13 164	3 862	660 613	231 383	2 649
2014	* 26	23 515	10 894	12 621	3 744	643 740	222 104	2 497

第2表 人口動態総覧（率）の年次推移 (2-1)

年次		出生率	死亡率	乳児死亡率	新生児死亡率	自然増減率	死産率 ¹⁾	自然死産率	人工死産率
		(人口千対)		(出生千対)		(人口千対)	(出産千対)		
1899	明治 32年	32.0	21.5	153.8	77.9	10.5	89.1
1900	33	32.4	20.8	155.0	79.0	11.6	88.5
1901	34	33.9	20.9	149.9	77.1	13.0	93.8
1902	35	33.6	21.3	154.0	77.2	12.3	94.5
1903	36	32.7	20.4	152.4	75.8	12.3	93.6
1904	37	31.2	20.7	151.9	73.9	10.5	92.6
1905	38	31.2	21.6	151.7	71.2	9.6	89.1
1906	39	29.6	20.3	153.6	75.5	9.3	97.0
1907	40	34.0	21.4	151.3	73.5	12.6	89.6
1908	41	34.7	21.5	158.0	74.5	13.2	89.1
1909	42	34.9	22.5	167.3	76.5	12.4	87.1
1910	43	34.8	21.6	161.2	74.1	13.2	84.2
1911	44	35.1	20.9	158.4	72.8	14.1	81.6
1912	大正 元年	34.4	20.5	154.2	71.3	13.9	78.3
1913	2	34.3	20.0	152.1	70.7	14.2	77.6
1914	3	34.8	21.2	158.5	69.5	13.6	74.6
1915	4	34.1	20.7	160.4	69.7	13.4	72.8
1916	5	33.7	22.2	170.3	73.1	11.5	72.0
1917	6	33.5	22.2	173.2	77.1	11.3	71.9
1918	7	32.7	27.3	188.6	81.3	5.5	73.7
1919	8	32.3	23.3	170.5	72.6	9.0	69.5
1920	9	36.2	25.4	165.7	69.0	10.8	66.4
1921	10	35.1	22.7	168.3	68.5	12.4	65.0
1922	11	34.3	22.4	166.4	67.5	11.9	62.9
1923	12	35.2	22.9	163.4	66.3	12.2	61.5
1924	13	33.9	21.3	156.2	63.2	12.6	59.2
1925	14	34.9	20.3	142.4	58.1	14.7	56.3
1926	昭和 元年	34.6	19.1	137.5	56.9	15.5	55.7
1927	2	33.4	19.7	141.7	56.4	13.7	53.7
1928	3	34.1	19.8	137.6	54.2	14.4	53.3
1929	4	32.7	19.9	142.1	55.4	12.9	53.3
1930	5	32.4	18.2	124.1	49.9	14.2	53.4
1931	6	32.1	19.0	131.5	51.7	13.2	52.5
1932	7	32.9	17.7	117.5	47.9	15.2	51.9
1933	8	31.5	17.7	121.3	48.5	13.8	51.1
1934	9	29.9	18.1	124.8	50.6	11.8	52.4
1935	10	31.6	16.8	106.7	44.7	14.9	50.1
1936	11	30.0	17.5	116.7	48.1	12.4	50.2
1937	12	30.9	17.1	105.8	43.8	13.8	48.6
1938	13	27.2	17.7	114.4	46.2	9.4	49.1
1939	14	26.6	17.8	106.2	44.3	8.9	49.2
1940	15	29.4	16.5	90.0	38.7	12.9	46.0
1941	16	31.8	16.0	84.1	34.2	15.7	43.4
1942	17	30.9	16.1	85.5	34.1	14.7	41.0
1943	18	30.9	16.7	86.6	33.8	14.3	39.6
1947	22	34.3	14.6	76.7	31.4	19.7	44.2
1948	23	33.5	11.9	61.7	27.5	21.6	50.9	* 36.9	* 10.9
1949	24	33.0	11.6	62.5	26.9	21.4	66.7	* 39.1	* 25.9
1950	25	28.1	10.9	60.1	27.4	17.2	84.9	41.7	43.2
1951	26	25.3	9.9	57.5	27.5	15.4	92.2	43.0	49.3
1952	27	23.4	8.9	49.4	25.4	14.4	92.3	42.8	49.5
1953	28	21.5	8.9	48.9	25.5	12.6	93.8	43.5	50.2
1954	29	20.0	8.2	44.6	24.1	11.9	95.6	44.6	51.1

注： *印は概数である。

1) 死産率は死産数を出産数（死産数に出生数を加えたもの）で除している。

年 次		出生率	死亡率	乳児死亡率	新生児死亡率	自然増減率	死産率 ¹⁾	自然死産率	人工死産率
		(人口千対)	(人口千対)	(出生千対)	(出生千対)	(人口千対)	(出産千対)		
1955	昭和 30 年	19.4	7.8	39.8	22.3	11.6	95.8	44.5	51.3
1956	31	18.4	8.0	40.6	23.0	10.4	97.1	46.9	50.1
1957	32	17.2	8.3	40.0	21.6	8.9	101.2	49.9	51.3
1958	33	18.0	7.4	34.5	19.5	10.5	100.7	50.2	50.5
1959	34	17.5	7.4	33.7	18.6	10.1	100.6	51.3	49.3
1960	35	17.2	7.6	30.7	17.0	9.6	100.4	52.3	48.1
1961	36	16.9	7.4	28.6	16.5	9.5	101.7	54.3	47.4
1962	37	17.0	7.5	26.4	15.3	9.5	98.8	54.2	44.6
1963	38	17.3	7.0	23.2	13.8	10.3	95.6	53.3	42.4
1964	39	17.7	6.9	20.4	12.4	10.7	89.2	51.7	37.5
1965	40	18.6	7.1	18.5	11.7	11.4	81.4	47.6	33.8
1966	41	13.7	6.8	19.3	12.0	7.0	98.2	55.2	43.1
1967	42	19.4	6.8	14.9	9.9	12.7	71.6	43.6	28.0
1968	43	18.6	6.8	15.3	9.8	11.8	71.1	43.4	27.7
1969	44	18.5	6.8	14.2	9.1	11.7	68.6	42.3	26.3
1970	45	18.8	6.9	13.1	8.7	11.8	65.3	40.6	24.7
1971	46	19.2	6.6	12.4	8.2	12.6	61.4	39.3	22.1
1972	47	19.3	6.5	11.7	7.8	12.8	57.8	37.8	20.1
1973	48	19.4	6.6	11.3	7.4	12.8	52.6	35.6	17.0
1974	49	18.6	6.5	10.8	7.1	12.1	51.3	34.9	16.4
1975	50	17.1	6.3	10.0	6.8	10.8	50.8	33.8	17.1
1976	51	16.3	6.3	9.3	6.4	10.0	52.7	33.1	19.6
1977	52	15.5	6.1	8.9	6.1	9.4	51.5	32.6	18.9
1978	53	14.9	6.1	8.4	5.6	8.8	48.7	31.1	17.6
1979	54	14.2	6.0	7.9	5.2	8.3	47.7	29.6	18.1
1980	55	13.6	6.2	7.5	4.9	7.3	46.8	28.8	18.0
1981	56	13.0	6.1	7.1	4.7	6.9	49.2	28.8	20.5
1982	57	12.8	6.0	6.6	4.2	6.8	49.0	27.7	21.3
1983	58	12.7	6.2	6.2	3.9	6.5	45.5	25.4	20.1
1984	59	12.5	6.2	6.0	3.7	6.3	46.3	24.3	22.0
1985	60	11.9	6.3	5.5	3.4	5.6	46.0	22.1	23.9
1986	61	11.4	6.2	5.2	3.1	5.2	45.3	21.4	23.9
1987	62	11.1	6.2	5.0	2.9	4.9	45.3	21.2	24.0
1988	63	10.8	6.5	4.8	2.7	4.3	43.4	19.5	23.9
1989	平成 元年	10.2	6.4	4.6	2.6	3.7	42.4	18.9	23.5
1990	2	10.0	6.7	4.6	2.6	3.3	42.3	18.3	23.9
1991	3	9.9	6.7	4.4	2.4	3.2	39.7	17.5	22.1
1992	4	9.8	6.9	4.5	2.4	2.9	38.9	17.2	21.6
1993	5	9.6	7.1	4.3	2.3	2.5	36.6	16.4	20.2
1994	6	10.0	7.1	4.2	2.3	2.9	33.5	15.4	18.1
1995	7	9.6	7.4	4.3	2.2	2.1	32.1	14.9	17.2
1996	8	9.7	7.2	3.8	2.0	2.5	31.7	14.7	17.0
1997	9	9.5	7.3	3.7	1.9	2.2	32.1	14.2	17.9
1998	10	9.6	7.5	3.6	2.0	2.1	31.4	13.6	17.8
1999	11	9.4	7.8	3.4	1.8	1.6	31.6	13.7	17.9
2000	12	9.5	7.7	3.2	1.8	1.8	31.2	13.2	18.1
2001	13	9.3	7.7	3.1	1.6	1.6	31.0	13.0	18.0
2002	14	9.2	7.8	3.0	1.7	1.4	31.1	12.7	18.3
2003	15	8.9	8.0	3.0	1.7	0.9	30.5	12.6	17.8
2004	16	8.8	8.2	2.8	1.5	0.7	30.0	12.5	17.5
2005	17	8.4	8.6	2.8	1.4	△ 0.2	29.1	12.3	16.7
2006	18	8.7	8.6	2.6	1.3	0.1	27.5	11.9	15.6
2007	19	8.6	8.8	2.6	1.3	△ 0.1	26.2	11.7	14.5
2008	20	8.7	9.1	2.6	1.2	△ 0.4	25.2	11.3	13.9
2009	21	8.5	9.1	2.4	1.2	△ 0.6	24.6	11.1	13.5
2010	22	8.5	9.5	2.3	1.1	△ 1.0	24.2	11.2	13.0
2011	23	8.3	9.9	2.3	1.1	△ 1.6	23.9	11.1	12.8
2012	24	8.2	10.0	2.2	1.0	△ 1.7	23.4	10.8	12.6
2013	25	8.2	10.1	2.1	1.0	△ 1.9	22.9	10.4	12.5
2014	* 26	8.0	10.1	2.1	0.9	△ 2.1	22.9	10.6	12.3

第2表 人口動態総覧（率）の年次推移（2-2）

年次		2) 周産期死亡率 (出産千対)	婚姻率 (人口千対)	離婚率 (人口千対)	合計特殊 出生率	3) 年齢調整死亡率 (人口千対)		4) (参考) 周産期死亡率 (出生千対)
						男	女	
						1899	明治 32 年	
1900	33	…	7.9	1.46	…	…	…	
1901	34	…	8.5	1.43	…	…	…	
1902	35	…	8.8	1.43	…	…	…	
1903	36	…	8.1	1.44	…	…	…	
1904	37	…	8.6	1.39	…	…	…	
1905	38	…	7.5	1.29	…	…	…	
1906	39	…	7.5	1.39	…	…	…	
1907	40	…	9.1	1.29	…	…	…	
1908	41	…	9.6	1.26	…	…	…	
1909	42	…	9.0	1.21	…	…	…	
1910	43	…	9.0	1.21	…	…	…	
1911	44	…	8.7	1.16	…	…	…	
1912	大正 元年	…	8.5	1.17	…	…	…	
1913	2	…	8.4	1.16	…	…	…	
1914	3	…	8.7	1.15	…	…	…	
1915	4	…	8.4	1.14	…	…	…	
1916	5	…	8.1	1.13	…	…	…	
1917	6	…	8.3	1.03	…	…	…	
1918	7	…	9.1	1.03	…	…	…	
1919	8	…	8.7	1.03	…	…	…	
1920	9	…	9.8	0.99	…	…	…	
1921	10	…	9.2	0.94	…	…	…	
1922	11	…	9.0	0.92	…	…	…	
1923	12	…	8.8	0.88	…	…	…	
1924	13	…	8.7	0.88	…	…	…	
1925	14	…	8.7	0.87	…	…	…	
1926	昭和 元年	…	8.3	0.83	…	…	…	
1927	2	…	7.9	0.82	…	…	…	
1928	3	…	8.0	0.78	…	…	…	
1929	4	…	7.8	0.81	…	…	…	
1930	5	…	7.9	0.80	…	…	…	
1931	6	…	7.6	0.77	…	…	…	
1932	7	…	7.8	0.77	…	…	…	
1933	8	…	7.2	0.73	…	…	…	
1934	9	…	7.5	0.71	…	…	…	
1935	10	…	8.0	0.70	…	…	…	
1936	11	…	7.8	0.66	…	…	…	
1937	12	…	9.5	0.66	…	…	…	
1938	13	…	7.6	0.63	…	…	…	
1939	14	…	7.8	0.64	…	…	…	
1940	15	…	9.3	0.68	…	…	…	
1941	16	…	11.0	0.69	…	…	…	
1942	17	…	9.4	0.64	…	…	…	
1943	18	…	10.2	0.68	…	…	…	
1947	22	…	12.0	1.02	4.54	23.6	18.3	…
1948	23	…	11.9	0.99	4.40	19.3	15.4	…
1949	24	…	10.3	1.01	4.32	18.9	15.0	…
1950	25	…	8.6	1.01	3.65	18.6	14.6	46.6
1951	26	…	7.9	0.97	3.26	16.9	13.4	46.7
1952	27	…	7.9	0.92	2.98	15.7	12.4	45.6
1953	28	…	7.8	0.86	2.69	16.4	12.6	46.0
1954	29	…	7.9	0.87	2.48	15.2	11.3	45.1

注： *印は概数である。

- 2) 妊娠満22週以後の死産数に早期新生児死亡数を加えたものを出産数(妊娠満22週以後の死産数に出生数を加えたもの)で除している。
- 3) 年齢調整死亡率は、人口構成の異なる集団間での死亡率を比較するために、年齢階級別死亡率を一定の基準人口(昭和60年モデル人口)にあてはめて算出した指標である。
- 4) 妊娠満28週以後の死産数に早期新生児死亡数を加えたものを出生数で除している。

年次	2)	周産期死亡率 (出産千対)	婚姻率 (人口千対)	離婚率	合計特殊 出生率	3)		(参考) 4)
						年齢調整死亡率 (人口千対)		
						男	女	
1955	昭和 30 年	...	8.0	0.84	2.37	14.8	11.0	43.9
1956	31	...	7.9	0.80	2.22	15.6	11.5	45.5
1957	32	...	8.5	0.79	2.04	16.3	11.8	45.0
1958	33	...	9.0	0.80	2.11	14.4	10.4	43.9
1959	34	...	9.1	0.78	2.04	14.4	10.2	43.0
1960	35	...	9.3	0.74	2.00	14.8	10.4	41.4
1961	36	...	9.4	0.74	1.96	14.3	10.0	40.9
1962	37	...	9.8	0.75	1.98	14.6	10.0	38.7
1963	38	...	9.7	0.73	2.00	13.4	9.3	36.2
1964	39	...	9.9	0.74	2.05	13.2	9.1	33.1
1965	40	...	9.7	0.79	2.14	13.7	9.3	30.1
1966	41	...	9.5	0.80	1.58	12.7	8.7	31.3
1967	42	...	9.6	0.84	2.23	12.6	8.5	26.3
1968	43	...	9.5	0.87	2.13	12.5	8.4	24.5
1969	44	...	9.6	0.89	2.13	12.4	8.2	23.0
1970	45	...	10.0	0.93	2.13	12.3	8.2	21.7
1971	46	...	10.5	0.99	2.16	11.5	7.6	20.4
1972	47	...	10.4	1.02	2.14	11.2	7.4	19.0
1973	48	...	9.9	1.04	2.14	11.2	7.4	18.0
1974	49	...	9.1	1.04	2.05	10.9	7.2	16.9
1975	50	...	8.5	1.07	1.91	10.4	6.9	16.0
1976	51	...	7.8	1.11	1.85	10.1	6.6	14.8
1977	52	...	7.2	1.14	1.80	9.6	6.2	14.1
1978	53	...	6.9	1.15	1.79	9.4	6.0	13.0
1979	54	21.6	6.8	1.17	1.77	9.0	5.7	12.5
1980	55	20.2	6.7	1.22	1.75	9.2	5.8	11.7
1981	56	19.5	6.6	1.32	1.74	8.9	5.6	10.8
1982	57	18.3	6.6	1.39	1.77	8.5	5.2	10.1
1983	58	16.9	6.4	1.51	1.80	8.6	5.2	9.3
1984	59	16.6	6.2	1.50	1.81	8.3	5.0	8.7
1985	60	15.4	6.1	1.39	1.76	8.1	4.8	8.0
1986	61	14.6	5.9	1.37	1.72	7.8	4.6	7.3
1987	62	13.7	5.7	1.30	1.69	7.6	4.4	6.9
1988	63	12.7	5.8	1.26	1.66	7.7	4.5	6.5
1989	平成 元年	12.1	5.8	1.29	1.57	7.4	4.2	6.0
1990	2	11.1	5.9	1.28	1.54	7.5	4.2	5.7
1991	3	8.5	6.0	1.37	1.53	7.4	4.1	5.3
1992	4	8.1	6.1	1.45	1.50	7.4	4.0	5.2
1993	5	7.7	6.4	1.52	1.46	7.3	4.0	5.0
1994	6	7.5	6.3	1.57	1.50	7.1	3.8	5.0
1995	7	7.0	6.4	1.60	1.42	7.2	3.8	4.7
1996	8	6.7	6.4	1.66	1.43	6.8	3.6	4.4
1997	9	6.4	6.2	1.78	1.39	6.7	3.5	4.2
1998	10	6.2	6.3	1.94	1.38	6.6	3.4	4.1
1999	11	6.0	6.1	2.00	1.34	6.7	3.4	4.0
2000	12	5.8	6.4	2.10	1.36	6.3	3.2	3.8
2001	13	5.5	6.4	2.27	1.33	6.2	3.1	3.6
2002	14	5.5	6.0	2.30	1.32	6.0	3.0	3.7
2003	15	5.3	5.9	2.25	1.29	6.0	3.0	3.6
2004	16	5.0	5.7	2.15	1.29	5.9	3.0	3.3
2005	17	4.8	5.7	2.08	1.26	5.9	3.0	3.3
2006	18	4.7	5.8	2.04	1.32	5.7	2.9	3.1
2007	19	4.5	5.7	2.02	1.34	5.6	2.8	3.0
2008	20	4.3	5.8	1.99	1.37	5.6	2.8	2.9
2009	21	4.2	5.6	2.01	1.37	5.4	2.7	2.9
2010	22	4.2	5.5	1.99	1.39	5.4	2.7	2.9
2011	23	4.1	5.2	1.87	1.39	5.5	2.9	2.8
2012	24	4.0	5.3	1.87	1.41	5.2	2.7	2.7
2013	25	3.7	5.3	1.84	1.43	5.1	2.7	2.6
2014	* 26	3.7	5.1	1.77	1.42	2.5

第3表 出生数の年次推移，母の年齢（5歳階級）別

母の年齢	昭和60年	平成7年	17	23	24	25	*26
総数 ¹⁾	1 431 577	1 187 064	1 062 530	1 050 806	1 037 231	1 029 816	1 003 532
～14歳	23	37	42	44	59	51	43
15～19	17 854	16 075	16 531	13 274	12 711	12 913	12 967
20～24	247 341	193 514	128 135	104 059	95 805	91 250	86 587
25～29	682 885	492 714	339 328	300 384	292 464	282 794	267 845
30～34	381 466	371 773	404 700	373 490	367 715	365 404	359 323
35～39	93 501	100 053	153 440	221 272	225 480	229 741	225 888
40～44	8 224	12 472	19 750	37 437	42 031	46 546	49 606
45～49	244	414	564	802	928	1 069	1 214
50歳以上	1	-	34	41	32	47	58

注： *印は概数である。

1)総数には母の年齢不詳を含む。

第4表 出生数の年次推移，出生順位別

出生順位	昭和60年	平成7年	17	23	24	25	*26
総数	1 431 577	1 187 064	1 062 530	1 050 806	1 037 231	1 029 816	1 003 532
第1子	602 005	567 530	512 412	494 712	484 710	481 418	474 191
第2子	562 920	428 394	399 307	383 666	382 461	379 466	364 763
第3子以上	266 652	191 140	150 811	172 428	170 060	168 932	164 578

注： *印は概数である。

第5表 死亡率（人口10万対）の年次推移，性・年齢（5歳階級）別

総数（3-1）

年 齢	昭和60年	平成7年	17	23	24	25	* 26
総数 ¹⁾	625.5	741.9	858.8	993.1	997.5	1 009.1	1 014.9
0～4歳	145.3	118.3	73.9	68.9	60.8	57.0	55.9
5～9	21.1	19.0	11.1	13.8	9.3	8.5	8.7
10～14	16.5	15.9	9.8	12.4	8.7	8.1	8.8
15～19	47.2	39.6	27.6	29.0	22.9	21.2	20.3
20～24	57.1	52.1	46.9	48.0	40.7	40.4	38.7
25～29	60.9	53.4	51.5	52.6	46.8	43.4	44.5
30～34	74.5	64.4	62.0	62.3	53.2	52.6	53.5
35～39	104.2	88.7	86.9	83.4	73.4	72.2	69.0
40～44	175.6	143.7	128.5	122.2	111.0	106.4	104.4
45～49	277.1	228.9	205.9	191.1	171.2	169.7	161.9
50～54	455.6	371.5	331.3	297.3	273.8	269.5	258.1
55～59	654.3	565.3	484.9	454.2	421.4	409.6	399.9
60～64	948.7	917.4	730.1	682.1	662.5	655.0	642.5
65～69	1 554.0	1 397.9	1 088.9	1 049.5	982.2	953.3	935.4
70～74	2 717.5	2 191.5	1 821.1	1 581.8	1 514.2	1 473.4	1 455.3
75～79	4 980.5	3 827.8	3 029.1	2 739.4	2 637.5	2 568.9	2 510.9
80～84	8 540.5	6 882.0	5 109.4	4 912.1	4 797.4	4 721.1	4 552.9
85～89	14 725.6	11 847.5	8 947.0	8 513.3	8 472.0	8 363.4	8 177.0
90～94 ²⁾	23 364.8	21 468.2	15 167.7	15 016.1	14 951.9	14 624.2	14 295.3
95～99	…	…	23 894.8	25 241.5	25 357.3	24 936.3	23 965.8
100歳以上	…	…	37 771.1	41 640.4	41 147.1	39 961.8	39 021.7

注：*印は概数である。

1) 総数には年齢不詳を含む。

2) 昭和60年、平成7年の90～94歳は90歳以上の数値である。

第5表 死亡率（人口10万対）の年次推移，性・年齢（5歳階級）別

男 (3-2)

年 齢	昭和60年	平成7年	17	23	24	25	* 26
総 数 ¹⁾	690.6	822.9	949.4	1 068.4	1 068.9	1 076.5	1 081.8
0～4歳	158.8	129.0	80.6	69.6	62.8	60.9	58.4
5～9	26.6	22.6	13.5	14.5	10.6	9.9	10.3
10～14	19.9	18.8	11.8	14.7	10.2	9.6	11.0
15～19	69.8	55.4	36.4	36.6	30.0	28.6	27.7
20～24	81.4	73.1	62.4	62.9	57.1	56.0	54.1
25～29	80.7	73.3	70.1	67.0	62.4	59.0	59.4
30～34	93.3	81.7	80.5	78.2	68.1	67.0	69.5
35～39	131.9	113.5	113.1	102.6	93.5	91.9	85.8
40～44	227.7	183.8	169.3	153.1	141.0	134.9	131.6
45～49	371.7	295.2	275.6	239.9	221.2	216.5	204.5
50～54	624.6	498.6	448.1	391.4	358.5	352.7	335.6
55～59	906.7	784.7	675.9	615.5	577.4	558.0	538.0
60～64	1 314.9	1 311.6	1 046.2	960.1	945.9	925.8	903.6
65～69	2 159.4	2 002.8	1 559.7	1 513.1	1 419.0	1 371.5	1 345.2
70～74	3 707.7	3 154.7	2 637.3	2 263.2	2 174.3	2 124.8	2 103.9
75～79	6 581.0	5 461.1	4 401.7	3 939.6	3 792.2	3 683.6	3 591.9
80～84	10 799.1	9 484.5	7 328.5	7 067.4	6 886.1	6 759.2	6 482.0
85～89	18 136.2	15 648.6	12 638.9	11 956.1	11 850.6	11 640.6	11 388.2
90～94 ²⁾	25 429.3	26 734.7	20 217.3	20 409.5	20 198.1	19 459.2	18 862.4
95～99	…	…	30 937.2	31 778.0	32 345.0	30 980.6	30 682.3
100歳以上	…	…	46 157.9	50 600.0	45 628.6	46 414.3	42 375.0

注：*印は概数である。

1) 総数には年齢不詳を含む。

2) 昭和60年、平成7年の90～94歳は90歳以上の数値である。

第5表 死亡率（人口10万対）の年次推移，性・年齢（5歳階級）別

女 (3-3)

年 齢	昭和60年	平成7年	17	23	24	25	* 26
総 数 ¹⁾	562.7	664.0	772.3	921.6	929.7	945.1	951.5
0～4歳	131.2	107.2	66.9	68.2	58.7	53.0	53.4
5～9	15.3	15.2	8.6	13.0	7.8	7.1	7.2
10～14	13.1	12.9	7.8	10.0	7.3	6.5	6.6
15～19	23.7	22.9	18.4	20.8	15.4	13.5	12.6
20～24	31.8	30.2	30.5	32.4	23.5	23.8	22.5
25～29	40.7	32.8	32.2	37.6	30.5	27.1	28.8
30～34	55.6	46.6	43.1	45.8	37.8	37.7	37.0
35～39	76.0	63.5	60.2	63.6	52.6	52.0	51.7
40～44	124.1	103.2	86.9	90.5	80.2	77.0	76.2
45～49	184.6	162.1	135.8	141.5	120.4	122.1	118.5
50～54	289.7	246.8	214.9	202.9	188.7	185.8	179.9
55～59	414.9	353.7	297.4	295.0	267.2	262.8	263.4
60～64	663.0	548.9	430.7	414.2	389.6	394.4	390.6
65～69	1 106.4	864.2	659.0	624.9	579.7	565.8	553.9
70～74	1 998.4	1 513.4	1 130.4	990.9	940.0	905.9	890.1
75～79	3 871.3	2 814.8	1 998.0	1 811.2	1 737.1	1 692.7	1 655.3
80～84	7 165.7	5 429.7	3 870.6	3 520.6	3 436.3	3 381.6	3 272.4
85～89	13 067.1	10 072.4	7 364.1	6 928.3	6 854.8	6 742.5	6 546.7
90～94 ²⁾	22 490.8	19 574.7	13 480.3	13 372.7	13 368.5	13 173.9	12 875.1
95～99	…	…	22 176.4	23 648.8	23 804.4	23 597.9	22 524.9
100歳以上	…	…	36 310.6	41 337.5	40 434.1	39 020.8	39 260.8

注：*印は概数である。

1) 総数には年齢不詳を含む。

2) 昭和60年、平成7年の90～94歳は90歳以上の数値である。

第6表 死亡数・死亡率（人口10万対），死因简单分類別（2-1）

死因简单 分類コード	死 因	死 亡 数		死 亡 率		死亡総数 に占める 割合(%)
		*平成26年	平成25年	*平成26年	平成25年	*平成26年
	総 数	1 273 020	1 268 436	1 014.9	1 009.1	100.0
01000	感染症及び寄生虫症	25 440	25 733	20.3	20.5	2.0
01100	腸管感染症	2 409	2 586	1.9	2.1	0.2
01200	結 核	2 099	2 087	1.7	1.7	0.2
01201	呼吸器結核	1 835	1 837	1.5	1.5	0.1
01202	その他の結核	264	250	0.2	0.2	0.0
01300	敗 血 症	11 245	11 158	9.0	8.9	0.9
01400	ウイルス肝炎	4 744	4 882	3.8	3.9	0.4
01401	B型ウイルス肝炎	481	450	0.4	0.4	0.0
01402	C型ウイルス肝炎	4 032	4 158	3.2	3.3	0.3
01403	その他のウイルス肝炎	231	274	0.2	0.2	0.0
01500	ヒト免疫不全ウイルス〔H I V〕病	44	45	0.0	0.0	0.0
01600	その他の感染症及び寄生虫症	4 899	4 975	3.9	4.0	0.4
02000	新 生 物	378 930	375 867	302.1	299.0	29.8
02100	悪性新生物	367 943	364 872	293.3	290.3	28.9
02101	口唇，口腔及び咽頭の悪性新生物	7 408	7 179	5.9	5.7	0.6
02102	食道の悪性新生物	11 548	11 543	9.2	9.2	0.9
02103	胃の悪性新生物	47 890	48 632	38.2	38.7	3.8
02104	結腸の悪性新生物	33 282	32 682	26.5	26.0	2.6
02105	直腸S状結腸移行部及び 直腸の悪性新生物	15 179	14 972	12.1	11.9	1.2
02106	肝及び肝内胆管の悪性新生物	29 528	30 175	23.5	24.0	2.3
02107	胆のう及び その他の胆道の悪性新生物	18 111	18 225	14.4	14.5	1.4
02108	膵の悪性新生物	31 692	30 672	25.3	24.4	2.5
02109	喉頭の悪性新生物	978	963	0.8	0.8	0.1
02110	気管，気管支及び肺の悪性新生物	73 373	72 734	58.5	57.9	5.8
02111	皮膚の悪性新生物	1 682	1 525	1.3	1.2	0.1
02112	乳房の悪性新生物	13 317	13 230	10.6	10.5	1.0
02113	子宮の悪性新生物 ¹⁾	6 428	6 033	10.0	9.4	0.5
02114	卵巣の悪性新生物 ¹⁾	4 840	4 717	7.5	7.3	0.4
02115	前立腺の悪性新生物 ²⁾	11 505	11 560	18.8	18.9	0.9
02116	膀胱の悪性新生物	7 755	7 685	6.2	6.1	0.6

注：*印は概数である。

1) 女性人口10万に対する率である。

2) 男性人口10万に対する率である。

死因簡単 分類コード	死 因	死 亡 数		死 亡 率		死亡総数 に占める 割合(%)
		*平成26年	平成25年	*平成26年	平成25年	*平成26年
02117	中枢神経系の悪性新生物	2 323	2 217	1.9	1.8	0.2
02118	悪性リンパ腫	11 477	11 298	9.2	9.0	0.9
02119	白血 病	8 192	8 133	6.5	6.5	0.6
02120	その他のリンパ組織, 造血組織及び 関連組織の悪性新生物	4 232	4 163	3.4	3.3	0.3
02121	その他の悪性新生物	27 203	26 534	21.7	21.1	2.1
02200	その他の新生物	10 987	10 995	8.8	8.7	0.9
02201	中枢神経系のその他の新生物	2 576	2 670	2.1	2.1	0.2
02202	中枢神経系を除くその他の新生物	8 411	8 325	6.7	6.6	0.7
03000	血液及び造血器の疾患並びに 免疫機構の障害	4 299	4 514	3.4	3.6	0.3
03100	貧 血	1 918	2 010	1.5	1.6	0.2
03200	その他の血液及び造血器の疾患 並びに免疫機構の障害	2 381	2 504	1.9	2.0	0.2
04000	内分泌, 栄養及び代謝疾患	20 997	21 484	16.7	17.1	1.6
04100	糖 尿 病	13 647	13 812	10.9	11.0	1.1
04200	その他の内分泌, 栄養及び代謝疾患	7 350	7 672	5.9	6.1	0.6
05000	精神及び行動の障害	12 663	11 934	10.1	9.5	1.0
05100	血管性及び詳細不明の認知症	10 577	9 992	8.4	7.9	0.8
05200	その他の精神及び行動の障害	2 086	1 942	1.7	1.5	0.2
06000	神経系の疾患	28 350	26 885	22.6	21.4	2.2
06100	髄 膜 炎	302	289	0.2	0.2	0.0
06200	脊髄性筋萎縮症及び関連症候群	2 311	2 297	1.8	1.8	0.2
06300	パーキンソン病	6 573	6 577	5.2	5.2	0.5
06400	アルツハイマー病	9 443	8 183	7.5	6.5	0.7
06500	その他の神経系の疾患	9 721	9 539	7.8	7.6	0.8
07000	眼及び付属器の疾患	3	5	0.0	0.0	0.0
08000	耳及び乳様突起の疾患	12	18	0.0	0.0	0.0
09000	循環器系の疾患	341 489	345 688	272.3	275.0	26.8
09100	高血圧性疾患	6 928	7 165	5.5	5.7	0.5
09101	高血圧性心疾患及び心腎疾患	3 391	3 660	2.7	2.9	0.3
09102	その他の高血圧性疾患	3 537	3 505	2.8	2.8	0.3
09200	心疾患 (高血圧性を除く)	196 760	196 723	156.9	156.5	15.5
09201	慢性リウマチ性心疾患	2 307	2 330	1.8	1.9	0.2
09202	急性心筋梗塞	38 953	39 956	31.1	31.8	3.1
09203	その他の虚血性心疾患	34 839	34 853	27.8	27.7	2.7
09204	慢性非リウマチ性心内膜疾患	10 212	10 139	8.1	8.1	0.8

第6表 死亡数・死亡率（人口10万対），死因简单分類別（2-2）

死因简单 分類コード	死 因	死 亡 数		死 亡 率		死亡総数 に占める 割合(%)
		*平成26年	平成25年	*平成26年	平成25年	
09205	心 筋 症	3 834	3 809	3.1	3.0	0.3
09206	不整脈及び伝導障害	29 723	28 676	23.7	22.8	2.3
09207	心 不 全	71 612	71 922	57.1	57.2	5.6
09208	その他の心疾患	5 280	5 038	4.2	4.0	0.4
09300	脳血管疾患	114 118	118 347	91.0	94.1	9.0
09301	くも膜下出血	12 653	12 479	10.1	9.9	1.0
09302	脳内出血	32 533	32 962	25.9	26.2	2.6
09303	脳 梗 塞	65 997	69 967	52.6	55.7	5.2
09304	その他の脳血管疾患	2 935	2 939	2.3	2.3	0.2
09400	大動脈瘤及び解離	16 403	16 105	13.1	12.8	1.3
09500	その他の循環器系疾患	7 280	7 348	5.8	5.8	0.6
10000	呼吸器系の疾患	202 428	203 673	161.4	162.0	15.9
10100	インフルエンザ	1 130	1 514	0.9	1.2	0.1
10200	肺 炎	119 566	122 969	95.3	97.8	9.4
10300	急性気管支炎	505	517	0.4	0.4	0.0
10400	慢性閉塞性肺疾患	16 160	16 443	12.9	13.1	1.3
10500	喘 息	1 547	1 728	1.2	1.4	0.1
10600	その他の呼吸器系の疾患	63 520	60 502	50.6	48.1	5.0
11000	消化器系の疾患	47 774	47 573	38.1	37.8	3.8
11100	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	2 770	2 828	2.2	2.2	0.2
11200	ヘルニア及び腸閉塞	6 826	6 740	5.4	5.4	0.5
11300	肝 疾 患	15 656	15 930	12.5	12.7	1.2
11301	肝 硬 変（アルコール性を除く）	7 788	7 953	6.2	6.3	0.6
11302	その他の肝疾患	7 868	7 977	6.3	6.3	0.6
11400	その他の消化器系の疾患	22 522	22 075	18.0	17.6	1.8
12000	皮膚及び皮下組織の疾患	1 622	1 465	1.3	1.2	0.1
13000	筋骨格系及び結合組織の疾患	5 945	5 849	4.7	4.7	0.5
14000	腎尿路生殖器系の疾患	36 716	36 387	29.3	28.9	2.9
14100	糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患	4 352	4 350	3.5	3.5	0.3
14200	腎 不 全	24 747	25 101	19.7	20.0	1.9
14201	急性腎不全	3 679	3 868	2.9	3.1	0.3
14202	慢性腎不全	15 705	15 621	12.5	12.4	1.2
14203	詳細不明の腎不全	5 363	5 612	4.3	4.5	0.4
14300	その他の腎尿路生殖器系の疾患	7 617	6 936	6.1	5.5	0.6

注：1) 女性人口10万に対する率である。

死因簡単 分類コード	死 因	死 亡 数		死 亡 率		死亡総数 に占める 割合 (%)
		*平成26年	平成25年	*平成26年	平成25年	
15000	妊娠, 分娩及び産じょく ¹⁾	33	41	0.1	0.1	0.0
16000	周産期に発生した病態	532	561	0.4	0.4	0.0
16100	妊娠期間及び胎児発育に関連する障害	59	60	0.0	0.0	0.0
16200	出産外傷	13	6	0.0	0.0	0.0
16300	周産期に特異的な呼吸障害 及び心血管障害	270	314	0.2	0.2	0.0
16400	周産期に特異的な感染症	41	31	0.0	0.0	0.0
16500	胎児及び新生児の出血性障害 及び血液障害	64	77	0.1	0.1	0.0
16600	その他の周産期に発生した病態	85	73	0.1	0.1	0.0
17000	先天奇形, 変形及び染色体異常	2 037	2 079	1.6	1.7	0.2
17100	神経系の先天奇形	102	90	0.1	0.1	0.0
17200	循環器系の先天奇形	941	1 015	0.8	0.8	0.1
17201	心臓の先天奇形	656	704	0.5	0.6	0.1
17202	その他の循環器系の先天奇形	285	311	0.2	0.2	0.0
17300	消化器系の先天奇形	115	108	0.1	0.1	0.0
17400	その他の先天奇形及び変形	579	549	0.5	0.4	0.0
17500	染色体異常, 他に分類されないもの	300	317	0.2	0.3	0.0
18000	症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査 所見で他に分類されないもの	94 454	86 913	75.3	69.1	7.4
18100	老 衰	75 340	69 720	60.1	55.5	5.9
18200	乳幼児突然死症候群	147	125	0.1	0.1	0.0
18300	その他の症状, 徴候及び異常臨床所見 ・異常検査所見で他に分類されないもの	18 967	17 068	15.1	13.6	1.5
20000	傷病及び死亡の外因	69 296	71 767	55.2	57.1	5.4
20100	不慮の事故	39 011	39 574	31.1	31.5	3.1
20101	交通事故	5 626	6 060	4.5	4.8	0.4
20102	転倒・転落	7 454	7 766	5.9	6.2	0.6
20103	不慮の溺死及び溺水	7 490	7 523	6.0	6.0	0.6
20104	不慮の窒息	9 662	9 713	7.7	7.7	0.8
20105	煙, 火及び火炎への曝露	1 223	1 304	1.0	1.0	0.1
20106	有害物質による不慮の中毒及び 有害物質への曝露	647	694	0.5	0.6	0.1
20107	その他の不慮の事故	6 909	6 514	5.5	5.2	0.5
20200	自 殺	24 398	26 063	19.5	20.7	1.9
20300	他 殺	357	342	0.3	0.3	0.0
20400	その他の外因	5 530	5 788	4.4	4.6	0.4
22000	特殊目的用コード	-	-	-	-	-
22100	重症急性呼吸器症候群 [SARS]	-	-	-	-	-

第7表 死因順位¹⁾ (1～5位) 別死亡数・死亡率 (人口10万対) , 性・

総数 (3-1)

年 齢	第1位			第2位			第3位		
	死 因	死亡数	死亡率	死 因	死亡数	死亡率	死 因	死亡数	死亡率
総数 ²⁾	悪性新生物	367 943	293.3	心 疾 患	196 760	156.9	肺 炎	119 566	95.3
0歳 ³⁾	先天奇形等	745	74.2	呼吸障害等	261	26.0	乳幼児突然死 症候群	147	14.6
1～4	先天奇形等	147	3.5	不慮の事故	112	2.7	悪性新生物	88	2.1
5～9	悪性新生物	103	2.0	不慮の事故	102	1.9	先天奇形等	37	0.7
10～14	悪性新生物	101	1.8	自 殺	100	1.8	不慮の事故	86	1.5
15～19	自 殺	433	7.3	不慮の事故	312	5.3	悪性新生物	141	2.4
20～24	自 殺	1 177	19.7	不慮の事故	384	6.4	悪性新生物	175	2.9
25～29	自 殺	1 422	22.0	不慮の事故	386	6.0	悪性新生物	325	5.0
30～34	自 殺	1 518	20.9	悪性新生物	698	9.6	不慮の事故	417	5.7
35～39	自 殺	1 761	20.7	悪性新生物	1 392	16.4	心 疾 患	550	6.5
40～44	悪性新生物	2 900	30.1	自 殺	2 040	21.2	心 疾 患	1 218	12.6
45～49	悪性新生物	4 682	55.2	自 殺	2 045	24.1	心 疾 患	1 716	20.2
50～54	悪性新生物	7 755	100.9	心 疾 患	2 558	33.3	自 殺	2 015	26.2
55～59	悪性新生物	13 843	182.6	心 疾 患	3 681	48.6	脳血管疾患	2 247	29.6
60～64	悪性新生物	27 844	312.2	心 疾 患	7 126	79.9	脳血管疾患	3 908	43.8
65～69	悪性新生物	42 148	462.8	心 疾 患	10 173	111.7	脳血管疾患	6 011	66.0
70～74	悪性新生物	51 649	654.4	心 疾 患	14 478	183.4	脳血管疾患	8 758	111.0
75～79	悪性新生物	59 115	946.7	心 疾 患	21 544	345.0	脳血管疾患	13 689	219.2
80～84	悪性新生物	65 758	1 354.4	心 疾 患	33 740	695.0	肺 炎	22 897	471.6
85～89	悪性新生物	54 191	1 774.4	心 疾 患	43 250	1 416.2	肺 炎	31 551	1 033.1
90～94	心 疾 患	35 357	2 715.6	悪性新生物	26 385	2 026.5	肺 炎	24 854	1 908.9
95～99	老 衰	17 761	5 060.1	心 疾 患	16 538	4 711.7	肺 炎	11 368	3 238.7
100歳以上	老 衰	8 302	13 836.7	心 疾 患	4 007	6 678.3	肺 炎	2 878	4 796.7

注：1) [1] 乳児（0歳）の死因については乳児死因順位に用いる分類項目を使用している。

[2] 死因名は次のように略称した。

心疾患←心疾患（高血圧性を除く）

先天奇形等←先天奇形，変形及び染色体異常

呼吸障害等←周産期に特異的な呼吸障害及び心血管障害

出血性障害等←胎児及び新生児の出血性障害及び血液障害

2) 総数には年齢不詳を含む。

3) 0歳の死亡率は出生10万に対する率である。

年齢（5歳階級）別

平成26年

第4位			第5位			年 齢
死 因	死亡数	死亡率	死 因	死亡数	死亡率	
脳血管疾患	114 118	91.0	老 衰	75 340	60.1	総 数 ²⁾
不慮の事故	79	7.9	出血性障害等	63	6.3	0歳 ³⁾
肺 炎	56	1.3	心 疾 患	40	1.0	1～4
その他の新生物	23	0.4	心 疾 患	19	0.4	5～9
心 疾 患	26	0.5	先 天 奇 形 等	24	0.4	10～14
心 疾 患	62	1.0	先 天 奇 形 等	28	0.5	15～19
心 疾 患	117	2.0	脳血管疾患	34	0.6	20～24
心 疾 患	138	2.1	脳血管疾患	60	0.9	25～29
心 疾 患	325	4.5	脳血管疾患	133	1.8	30～34
不慮の事故	495	5.8	脳血管疾患	311	3.7	35～39
脳血管疾患	842	8.7	不慮の事故	660	6.8	40～44
脳血管疾患	1 164	13.7	不慮の事故	805	9.5	45～49
脳血管疾患	1 717	22.3	肝 疾 患	940	12.2	50～54
自 殺	1 991	26.3	不慮の事故	1 218	16.1	55～59
自 殺	1 996	22.4	不慮の事故	1 912	21.4	60～64
肺 炎	3 379	37.1	不慮の事故	2 710	29.8	65～69
肺 炎	6 512	82.5	不慮の事故	3 618	45.8	70～74
肺 炎	12 421	198.9	不慮の事故	5 084	81.4	75～79
脳血管疾患	21 421	441.2	不慮の事故	6 789	139.8	80～84
脳血管疾患	25 092	821.6	老 衰	16 003	524.0	85～89
老 衰	24 461	1 878.7	脳血管疾患	18 978	1 457.6	90～94
脳血管疾患	7 883	2 245.9	悪性新生物	7 502	2 137.3	95～99
脳血管疾患	1 794	2 990.0	悪性新生物	1 107	1 845.0	100歳以上

第7表 死因順位¹⁾ (1～5位) 別死亡数・死亡率 (人口10万対) , 性・

男 (3-2)

年 齢	第1位			第2位			第3位		
	死 因	死亡数	死亡率	死 因	死亡数	死亡率	死 因	死亡数	死亡率
総数 ²⁾	悪性新生物	218 301	357.6	心 疾 患	92 178	151.0	肺 炎	64 738	106.1
0歳 ³⁾	先天奇形等	395	76.6	呼吸障害等	137	26.6	乳幼児突然死 症候群	91	17.7
1～4	先天奇形等	73	3.4	不慮の事故	62	2.9	悪性新生物	47	2.2
5～9	不慮の事故	71	2.6	悪性新生物	63	2.3	先天奇形等	18	0.7
10～14	自 殺	67	2.3	悪性新生物	65	2.2	不慮の事故	58	2.0
15～19	自 殺	312	10.3	不慮の事故	242	8.0	悪性新生物	96	3.2
20～24	自 殺	867	28.2	不慮の事故	309	10.0	心 疾 患	97	3.2
25～29	自 殺	1 042	31.5	不慮の事故	297	9.0	悪性新生物	148	4.5
30～34	自 殺	1 088	29.4	不慮の事故	326	8.8	悪性新生物	306	8.3
35～39	自 殺	1 241	28.7	悪性新生物	565	13.1	心 疾 患	423	9.8
40～44	自 殺	1 507	30.8	悪性新生物	1 210	24.7	心 疾 患	964	19.7
45～49	悪性新生物	2 133	49.8	自 殺	1 464	34.2	心 疾 患	1 355	31.7
50～54	悪性新生物	3 945	102.2	心 疾 患	2 059	53.3	自 殺	1 496	38.8
55～59	悪性新生物	7 958	211.1	心 疾 患	2 916	77.4	脳血管疾患	1 597	42.4
60～64	悪性新生物	17 827	407.1	心 疾 患	5 586	127.6	脳血管疾患	2 741	62.6
65～69	悪性新生物	28 325	645.1	心 疾 患	7 568	172.4	脳血管疾患	4 206	95.8
70～74	悪性新生物	34 904	950.0	心 疾 患	9 779	266.2	脳血管疾患	5 880	160.0
75～79	悪性新生物	38 609	1 399.9	心 疾 患	12 813	464.6	肺 炎	8 660	314.0
80～84	悪性新生物	40 035	2 065.8	心 疾 患	17 262	890.7	肺 炎	14 794	763.4
85～89	悪性新生物	28 937	2 817.6	心 疾 患	17 438	1 698.0	肺 炎	17 338	1 688.2
90～94	悪性新生物	10 389	3 340.5	肺 炎	9 862	3 171.1	心 疾 患	9 508	3 057.2
95～99	肺 炎	3 406	5 493.5	心 疾 患	3 321	5 356.5	老 衰	2 958	4 771.0
100歳以上	老 衰	957	11 962.5	心 疾 患	582	7 275.0	肺 炎	573	7 162.5

注：1) [1] 乳児（0歳）の死因については乳児死因順位に用いる分類項目を使用している。

[2] 死因名は次のように略称した。

心疾患←心疾患（高血圧性を除く）

先天奇形等←先天奇形，変形及び染色体異常

呼吸障害等←周産期に特異的な呼吸障害及び心血管障害

出血性障害等←胎児及び新生児の出血性障害及び血液障害

2) 総数には年齢不詳を含む。

3) 0歳の死亡率は出生10万に対する率である。

年齢（5歳階級）別

平成26年

第4位			第5位			年 齢
死 因	死亡数	死亡率	死 因	死亡数	死亡率	
脳血管疾患	54 953	90.0	不慮の事故	22 585	37.0	総数 ²⁾
不慮の事故	46	8.9	出血性障害等	28	5.4	0歳 ³⁾
肺炎	30	1.4	心疾患	24	1.1	1～4
心疾患	12	0.4	インフルエンザ	11	0.4	5～9
心疾患	19	0.7	先天奇形等	16	0.6	10～14
心疾患	45	1.5	先天奇形等	15	0.5	15～19
悪性新生物	96	3.1	脳血管疾患	24	0.8	20～24
心疾患	101	3.1	脳血管疾患	36	1.1	25～29
心疾患	247	6.7	脳血管疾患	97	2.6	30～34
不慮の事故	375	8.7	脳血管疾患	227	5.2	35～39
脳血管疾患	594	12.1	不慮の事故	520	10.6	40～44
脳血管疾患	813	19.0	不慮の事故	630	14.7	45～49
脳血管疾患	1 150	29.8	肝疾患	764	19.8	50～54
自殺	1 462	38.8	不慮の事故	911	24.2	55～59
肺炎	1 432	32.7	自殺	1 423	32.5	60～64
肺炎	2 608	59.4	不慮の事故	1 885	42.9	65～69
肺炎	4 784	130.2	不慮の事故	2 394	65.2	70～74
脳血管疾患	8 531	309.3	不慮の事故	3 082	111.7	75～79
脳血管疾患	11 586	597.8	不慮の事故	3 815	196.9	80～84
脳血管疾患	10 663	1 038.3	老 衰	5 073	494.0	85～89
老 衰	5 315	1 709.0	脳血管疾患	5 092	1 637.3	90～94
悪性新生物	2 371	3 824.2	脳血管疾患	1 457	2 350.0	95～99
悪性新生物	244	3 050.0	脳血管疾患	218	2 725.0	100歳以上

第7表 死因順位¹⁾ (1～5位) 別死亡数・死亡率 (人口10万対) , 性・

女 (3-3)

年 齢	第1位			第2位			第3位		
	死 因	死亡数	死亡率	死 因	死亡数	死亡率	死 因	死亡数	死亡率
総数 ²⁾	悪性新生物	149 642	232.4	心 疾 患	104 582	162.4	脳 血 管 疾 患	59 165	91.9
0歳 ³⁾	先天奇形等	350	71.7	呼 吸 障 害 等	124	25.4	乳 幼 児 突 然 死 症 候 群	56	11.5
1～4	先天奇形等	74	3.7	不慮の事故	50	2.5	悪性新生物	41	2.0
5～9	悪性新生物	40	1.6	不慮の事故	31	1.2	先天奇形等	19	0.7
10～14	悪性新生物	36	1.3	自 殺	33	1.2	不慮の事故	28	1.0
15～19	自 殺	121	4.2	不慮の事故	70	2.4	悪性新生物	45	1.6
20～24	自 殺	310	10.6	悪性新生物	79	2.7	不慮の事故	75	2.6
25～29	自 殺	380	12.0	悪性新生物	177	5.6	不慮の事故	89	2.8
30～34	自 殺	430	12.0	悪性新生物	392	11.0	不慮の事故	91	2.5
35～39	悪性新生物	827	19.8	自 殺	520	12.4	心 疾 患	127	3.0
40～44	悪性新生物	1 690	35.6	自 殺	533	11.2	心 疾 患	254	5.4
45～49	悪性新生物	2 549	60.7	自 殺	581	13.8	心 疾 患	361	8.6
50～54	悪性新生物	3 810	99.5	脳 血 管 疾 患	567	14.8	自 殺	519	13.6
55～59	悪性新生物	5 885	154.5	心 疾 患	765	20.1	脳 血 管 疾 患	650	17.1
60～64	悪性新生物	10 017	220.5	心 疾 患	1 540	33.9	脳 血 管 疾 患	1 167	25.7
65～69	悪性新生物	13 823	293.1	心 疾 患	2 605	55.2	脳 血 管 疾 患	1 805	38.3
70～74	悪性新生物	16 745	396.8	心 疾 患	4 699	111.4	脳 血 管 疾 患	2 878	68.2
75～79	悪性新生物	20 506	588.1	心 疾 患	8 731	250.4	脳 血 管 疾 患	5 158	147.9
80～84	悪性新生物	25 723	882.1	心 疾 患	16 478	565.1	脳 血 管 疾 患	9 835	337.3
85～89	心 疾 患	25 812	1 272.8	悪性新生物	25 254	1 245.3	脳 血 管 疾 患	14 429	711.5
90～94	心 疾 患	25 849	2 611.0	老 衰	19 146	1 933.9	悪性新生物	15 996	1 615.8
95～99	老 衰	14 803	5 122.1	心 疾 患	13 217	4 573.4	肺 炎	7 962	2 755.0
100歳以上	老 衰	7 345	14 402.0	心 疾 患	3 425	6 715.7	肺 炎	2 305	4 519.6

注：1) [1] 乳児（0歳）の死因については乳児死因順位に用いる分類項目を使用している。

[2] 死因名は次のように略称した。

心疾患←心疾患（高血圧性を除く）

先天奇形等←先天奇形，変形及び染色体異常

呼吸障害等←周産期に特異的な呼吸障害及び心血管障害

出血性障害等←胎児及び新生児の出血性障害及び血液障害

2) 総数には年齢不詳を含む。

3) 0歳の死亡率は出生10万に対する率である。

年齢（5歳階級）別

平成26年

第4位			第5位			年 齢
死 因	死亡数	死亡率	死 因	死亡数	死亡率	
老 衰	57 043	88.6	肺 炎	54 828	85.1	総 数 ²⁾
出血性障害等	35	7.2	不慮の事故	33	6.8	0歳 ³⁾
肺 炎	26	1.3	敗血疾患	16	0.8	1～4
その他の新生物	14	0.5	脳血管疾患	11	0.4	5～9
脳血管疾患 肺炎	9	0.3	先天奇形等	8	0.3	10～14
心 疾 患	17	0.6	先天奇形等	13	0.4	15～19
心 疾 患	20	0.7	先天奇形等	13	0.4	20～24
心 疾 患	37	1.2	脳血管疾患	24	0.8	25～29
心 疾 患	78	2.2	脳血管疾患	36	1.0	30～34
不慮の事故	120	2.9	脳血管疾患	84	2.0	35～39
脳血管疾患	248	5.2	不慮の事故	140	2.9	40～44
脳血管疾患	351	8.4	不慮の事故	175	4.2	45～49
心 疾 患	499	13.0	不慮の事故	217	5.7	50～54
自 殺	529	13.9	不慮の事故	307	8.1	55～59
自 殺	573	12.6	不慮の事故	494	10.9	60～64
不慮の事故	825	17.5	肺 炎	771	16.3	65～69
肺 炎	1 728	40.9	不慮の事故	1 224	29.0	70～74
肺 炎	3 761	107.9	不慮の事故	2 002	57.4	75～79
肺 炎	8 103	277.9	老 衰	3 719	127.5	80～84
肺 炎	14 213	700.8	老 衰	10 930	539.0	85～89
肺 炎	14 992	1 514.3	脳血管疾患	13 886	1 402.6	90～94
脳血管疾患	6 426	2 223.5	悪性新生物	5 131	1 775.4	95～99
脳血管疾患	1 576	3 090.2	悪性新生物	863	1 692.2	100歳以上

第8表 人口動態総覧，都道府県（21大都市再掲）別

都道府県 ¹⁾ (21大都市)	出生数			死亡数			(再掲)			新生児 死亡数
	総数	男	女	総数	男	女	乳児死亡数			
							総数	男	女	
全 国	1 003 532	515 529	488 003	1 273 020	660 349	612 671	2 081	1 111	970	952
北海道	37 058	19 010	18 048	60 020	31 335	28 685	61	26	35	32
青森	8 853	4 508	4 345	17 042	8 856	8 186	17	9	8	9
岩手	8 803	4 536	4 267	16 273	8 265	8 008	17	7	10	6
宮城	18 069	9 385	8 684	22 855	11 753	11 102	35	14	21	23
秋田	5 998	3 098	2 900	15 093	7 534	7 559	15	8	7	6
山形	7 966	4 049	3 917	15 031	7 351	7 680	19	10	9	9
福島	14 517	7 436	7 081	23 496	11 930	11 566	27	15	12	10
茨城	21 873	11 197	10 676	30 341	15 905	14 436	58	27	31	31
栃木	15 442	7 963	7 479	20 756	10 865	9 891	56	29	27	28
群馬	14 522	7 515	7 007	21 442	11 127	10 315	19	10	9	10
埼玉	55 765	28 703	27 062	61 271	33 289	27 982	118	56	62	54
千葉	46 749	23 991	22 758	53 970	28 942	25 028	104	54	50	53
東京	110 627	56 539	54 088	111 014	58 857	52 157	205	116	89	89
神奈川	72 996	37 565	35 431	74 383	40 409	33 974	149	78	71	75
新潟	16 480	8 424	8 056	28 316	14 316	14 000	33	19	14	13
富山	7 556	3 914	3 642	12 584	6 469	6 115	17	12	5	4
石川	8 961	4 580	4 381	12 189	6 137	6 052	21	10	11	5
福井	6 166	3 169	2 997	8 818	4 422	4 396	12	6	6	5
山梨	6 063	3 097	2 966	9 755	4 983	4 772	11	6	5	3
長野	15 848	8 173	7 675	24 752	12 398	12 354	23	13	10	10
岐阜	15 138	7 709	7 429	21 659	11 257	10 402	37	16	21	21
静岡	28 684	14 832	13 852	38 343	20 024	18 319	61	31	30	29
愛知	65 218	33 649	31 569	62 425	33 441	28 984	137	75	62	60
三重	13 725	7 032	6 693	19 525	9 921	9 604	27	11	16	15
滋賀	12 729	6 566	6 163	12 266	6 304	5 962	20	9	11	10
京都	19 583	10 025	9 558	25 505	12 872	12 633	35	23	12	15
大阪	69 968	35 787	34 181	81 657	43 787	37 870	138	80	58	65
兵庫	44 352	22 778	21 574	54 145	28 098	26 047	91	55	36	33
奈良	9 625	4 878	4 747	13 834	7 058	6 776	24	15	9	12
和歌山	7 140	3 665	3 475	12 609	6 305	6 304	18	10	8	6
鳥取	4 527	2 290	2 237	7 075	3 510	3 565	16	6	10	6
島根	5 359	2 730	2 629	9 369	4 692	4 677	13	11	2	3
岡山	15 837	8 215	7 622	21 052	10 731	10 321	26	14	12	13
広島	23 775	12 139	11 636	29 465	14 899	14 566	46	27	19	25
山口	10 197	5 309	4 888	17 912	8 846	9 066	26	15	11	15
徳島	5 502	2 885	2 617	9 853	4 957	4 896	19	11	8	9
香川	7 745	3 949	3 796	11 503	5 825	5 678	12	7	5	6
愛媛	10 399	5 446	4 953	17 529	8 736	8 793	16	9	7	9
高知	5 015	2 558	2 457	9 983	4 849	5 134	12	8	4	5
福岡	45 202	23 293	21 909	49 319	24 717	24 602	99	52	47	44
佐賀	7 159	3 667	3 492	9 732	4 801	4 931	9	6	3	5
長崎	11 323	5 840	5 483	17 091	8 457	8 634	24	9	15	5
熊本	15 558	7 974	7 584	20 462	9 973	10 489	25	13	12	10
大分	9 279	4 767	4 512	14 065	6 946	7 119	21	10	11	10
宮崎	9 509	4 904	4 605	13 111	6 513	6 598	24	14	10	9
鹿児島	14 234	7 330	6 904	21 413	10 516	10 897	38	21	17	17
沖縄	16 373	8 427	7 946	11 360	6 050	5 310	47	26	21	20
外国 不詳	65 .	33 .	32 .	165 1 192	115 1 006	50 186	3 -	2 -	1 -	- -
(再掲)										
東京都区部	78 421	40 110	38 311	75 613	40 049	35 564	152	84	68	67
札幌市	14 568	7 492	7 076	17 668	9 233	8 435	26	12	14	15
仙台市	9 243	4 799	4 444	8 266	4 354	3 912	17	7	10	13
さいたま市	10 397	5 410	4 987	9 579	5 170	4 409	17	4	13	9
千葉市	7 273	3 777	3 496	7 800	4 173	3 627	13	2	11	10
横浜市	30 149	15 483	14 666	30 037	16 240	13 797	44	22	22	26
川崎市	14 126	7 376	6 750	10 133	5 708	4 425	29	14	15	13
相模原市	5 525	2 776	2 749	5 460	3 078	2 382	15	8	7	7
新潟市	6 181	3 132	3 049	8 080	4 149	3 931	14	8	6	6
静岡市	5 371	2 751	2 620	7 393	3 870	3 523	11	6	5	7
浜松市	6 647	3 488	3 159	7 623	3 986	3 637	17	8	9	5
名古屋市	19 316	9 924	9 392	20 386	10 905	9 481	46	21	25	17
京都市	10 978	5 648	5 330	13 922	6 926	6 996	17	8	9	9
大阪市	21 940	11 141	10 799	27 139	14 869	12 270	40	30	10	19
堺市	6 859	3 468	3 391	7 648	4 090	3 558	10	5	5	6
神戸市	11 938	6 065	5 873	14 829	7 740	7 089	22	17	5	9
岡山市	6 397	3 365	3 032	6 389	3 264	3 125	8	2	6	5
広島市	10 822	5 523	5 299	9 951	5 058	4 893	25	13	12	12
北九州市	7 904	4 099	3 805	10 511	5 275	5 236	17	11	6	7
福岡市	14 559	7 511	7 048	11 052	5 676	5 376	27	12	15	12
熊本市	7 039	3 664	3 375	6 419	3 178	3 241	5	4	1	4

注：1) 都道府県別の表章は出生は子の住所、死亡は死亡者の住所、死産は母の住所、婚姻は夫の住所、離婚は別居する前の住所による。

自 然 増 減 数	死 産 数			周 産 期 死 亡 数			婚 姻 件 数	離 婚 件 数	都 道 府 県 ¹⁾ (21大都市)
	総 数	自然死産	人工死産	総 数	妊娠満22週 以後の死産	早期新生児 死亡			
△ 269 488	23 515	10 894	12 621	3 744	3 033	711	643 740	222 104	全 国
△ 22 962	1 100	460	640	149	124	25	26 017	11 004	北 海 道
△ 8 189	250	108	142	28	20	8	5 481	2 195	青 森 県
△ 7 470	213	117	96	46	41	5	5 482	1 855	岩 手 県
△ 4 786	421	180	241	69	50	19	11 766	3 824	宮 城 県
△ 9 095	164	85	79	32	27	5	3 842	1 444	秋 田 県
△ 7 065	173	88	85	34	27	7	4 699	1 670	山 形 県
△ 8 979	344	179	165	48	43	5	8 711	3 165	福 島 県
△ 8 468	491	239	252	97	72	25	13 802	4 954	茨 城 県
△ 5 314	357	153	204	67	45	22	9 770	3 322	栃 木 県
△ 6 920	326	155	171	60	51	9	9 089	3 312	群 馬 県
△ 5 506	1 382	668	714	221	181	40	35 217	12 484	埼 玉 県
△ 7 221	1 143	600	543	202	159	43	30 575	10 641	千 葉 県
△ 387	2 460	1 132	1 328	388	324	64	86 998	23 653	東 京 都
△ 1 387	1 565	772	793	274	213	61	48 852	16 004	神 奈 川 県
△ 11 836	391	190	201	78	69	9	9 954	3 175	新 潟 県
△ 5 028	155	84	71	37	33	4	4 540	1 417	富 山 県
△ 3 228	187	107	80	25	22	3	5 370	1 708	石 川 県
△ 2 652	161	74	87	28	23	5	3 706	1 135	福 井 県
△ 3 692	143	55	88	20	18	2	3 723	1 401	山 梨 県
△ 8 904	341	161	180	49	41	8	9 514	3 279	長 野 県
△ 6 521	313	144	169	70	53	17	9 070	3 181	岐 阜 県
△ 9 659	629	336	293	121	99	22	18 064	6 439	静 岡 県
△ 2 793	1 358	638	720	231	191	40	41 410	12 780	愛 知 県
△ 5 800	308	158	150	59	48	11	8 554	3 098	重 慶 県
△ 463	224	120	104	47	38	9	6 990	2 240	滋 賀 県
△ 5 922	446	209	237	70	59	11	12 672	4 463	京 都 府
△ 11 689	1 615	724	891	246	204	42	46 930	17 833	大 阪 府
△ 9 793	950	449	501	141	120	21	26 941	9 598	兵 庫 県
△ 4 209	205	99	106	37	27	10	6 001	2 225	和 歌 山 県
△ 5 469	148	61	87	28	22	6	4 419	1 914	鳥 取 県
△ 2 548	109	49	60	20	15	5	2 665	1 029	島 根 県
△ 4 010	124	65	59	17	17	-	3 023	966	山 梨 県
△ 5 215	354	147	207	45	37	8	9 265	3 212	岡 山 県
△ 5 690	468	212	256	71	53	18	14 194	4 838	広 島 県
△ 7 715	211	100	111	42	33	9	6 163	2 269	山 口 県
△ 4 351	129	75	54	22	15	7	3 322	1 269	徳 島 県
△ 3 758	169	70	99	17	14	3	4 693	1 719	香 川 県
△ 7 130	316	120	196	39	34	5	6 148	2 404	愛 媛 県
△ 4 968	149	50	99	15	11	4	3 116	1 364	高 知 県
△ 4 117	1 155	462	693	170	133	37	27 359	9 981	福 岡 県
△ 2 573	162	74	88	26	23	3	3 928	1 324	佐 賀 県
△ 5 768	302	134	168	42	37	5	6 137	2 316	長 崎 県
△ 4 904	458	185	273	44	36	8	8 714	3 105	熊 本 県
△ 4 786	257	93	164	31	22	9	5 391	2 004	大 宮 市
△ 3 602	294	117	177	26	19	7	5 154	2 296	大 宮 市
△ 7 179	391	155	236	47	37	10	7 836	3 024	鹿 児 島 県
△ 5 013	494	232	262	65	50	15	8 473	3 571	沖 縄 県
△ 100	8	7	1	3	3	-	.	.	外 国
.	2	2	-	-	-	-	.	.	不 詳
△ 2 808	1 741	801	940	276	229	47	66 556	16 918	(再 掲)
△ 3 100	430	176	254	75	62	13	10 751	4 182	東 京 都 区 部
977	196	85	111	37	26	11	6 398	1 764	札 幌 市
818	225	96	129	37	28	9	6 639	2 030	仙 台 市
△ 527	181	109	72	31	25	6	4 699	1 701	さい たま 市
112	623	314	309	109	86	23	19 911	6 424	千 葉 市
△ 3 993	257	129	128	39	30	9	10 307	2 509	横 浜 市
65	130	56	74	22	16	6	3 612	1 374	川 崎 市
△ 1 899	155	73	82	39	35	4	3 841	1 207	相 模 原 市
△ 2 022	128	76	52	23	18	5	3 516	1 186	新 潟 市
△ 976	134	78	56	26	22	4	4 070	1 343	静 岡 市
△ 1 070	448	199	249	61	52	9	13 803	4 364	浜 松 市
△ 2 944	256	114	142	45	39	6	7 714	2 647	名 古 屋 市
△ 5 199	556	228	328	80	68	12	17 485	6 251	京 都 府
△ 789	162	66	96	25	22	3	4 372	1 699	大 阪 府
△ 2 891	256	110	146	38	34	4	7 767	2 838	堺 市
8	161	68	93	23	20	3	3 868	1 299	神 戸 市
871	226	95	131	29	22	7	6 588	2 137	岡 山 市
△ 2 607	223	85	138	24	18	6	4 939	1 977	広 島 市
△ 3 507	300	122	178	45	36	9	10 013	3 016	北 九 州 市
620	192	84	108	16	13	3	4 058	1 294	福 岡 市
									熊 本 市

第9表 人口動態総覧（率），都道府県（21大都市再掲）別

都道府県 (21大都市)	出生率 (人口千対)	死亡率	乳児死亡率 (出生千対)	新生児死亡率	自然増減率 (人口千対)
全 国	8.0	10.1	2.1	0.9	△ 2.1
北 海 道	6.9	11.2	1.6	0.9	△ 4.3
青 森 県	6.7	12.9	1.9	1.0	△ 6.2
岩 手 県	6.9	12.7	1.9	0.7	△ 5.8
宮 城 県	7.8	9.9	1.9	1.3	△ 2.1
秋 田 県	5.8	14.6	2.5	1.0	△ 8.8
山 形 県	7.1	13.4	2.4	1.1	△ 6.3
福 島 県	7.5	12.2	1.9	0.7	△ 4.7
茨 城 県	7.6	10.5	2.7	1.4	△ 2.9
栃 木 県	7.9	10.6	3.6	1.8	△ 2.7
群 馬 県	7.5	11.0	1.3	0.7	△ 3.6
埼 玉 県	7.8	8.6	2.1	1.0	△ 0.8
千 葉 県	7.6	8.8	2.2	1.1	△ 1.2
京 都 府	8.5	8.5	1.9	0.8	△ 0.0
神 奈 川 県	8.1	8.3	2.0	1.0	△ 0.2
新 潟 県	7.2	12.3	2.0	0.8	△ 5.1
富 山 県	7.1	11.9	2.2	0.5	△ 4.7
石 川 県	7.8	10.6	2.3	0.6	△ 2.8
福 井 県	7.9	11.3	1.9	0.8	△ 3.4
山 梨 県	7.3	11.8	1.8	0.5	△ 4.4
長 野 県	7.6	11.9	1.5	0.6	△ 4.3
岐 阜 県	7.5	10.8	2.4	1.4	△ 3.2
静 岡 県	7.9	10.5	2.1	1.0	△ 2.6
愛 知 県	8.9	8.6	2.1	0.9	0.4
三 重 県	7.7	10.9	2.0	1.1	△ 3.2
滋 賀 県	9.1	8.8	1.6	0.8	0.3
京 都 府	7.6	9.9	1.8	0.8	△ 2.3
大 阪 府	8.1	9.4	2.0	0.9	△ 1.3
兵 庫 県	8.1	9.9	2.1	0.7	△ 1.8
奈 良 県	7.0	10.1	2.5	1.2	△ 3.1
和 歌 山 県	7.4	13.0	2.5	0.8	△ 5.7
鳥 取 県	7.9	12.4	3.5	1.3	△ 4.5
島 根 県	7.7	13.5	2.4	0.6	△ 5.8
岡 山 県	8.3	11.0	1.6	0.8	△ 2.7
広 島 県	8.5	10.5	1.9	1.1	△ 2.0
山 口 県	7.3	12.8	2.5	1.5	△ 5.5
徳 島 県	7.2	13.0	3.5	1.6	△ 5.7
香 川 県	8.0	11.8	1.5	0.8	△ 3.9
愛 媛 県	7.5	12.6	1.5	0.9	△ 5.1
高 知 県	6.8	13.6	2.4	1.0	△ 6.8
福 岡 県	9.0	9.8	2.2	1.0	△ 0.8
佐 賀 県	8.6	11.7	1.3	0.7	△ 3.1
長 崎 県	8.2	12.4	2.1	0.4	△ 4.2
熊 本 県	8.7	11.5	1.6	0.6	△ 2.7
大 分 県	8.0	12.1	2.3	1.1	△ 4.1
宮 崎 県	8.6	11.8	2.5	0.9	△ 3.2
鹿 児 島 県	8.6	12.9	2.7	1.2	△ 4.3
沖 縄 県	11.6	8.1	2.9	1.2	3.6
(再 掲)					
東 京 都	8.6	8.3	1.9	0.9	0.3
札 幌 市	7.5	9.1	1.8	1.0	△ 1.6
仙 台 市	8.6	7.7	1.8	1.4	0.9
さい たま 市	8.3	7.6	1.6	0.9	0.6
千 葉 市	7.5	8.1	1.8	1.4	△ 0.5
横 浜 市	8.1	8.1	1.5	0.9	0.0
川 崎 市	9.7	6.9	2.1	0.9	2.7
相 模 原 市	7.6	6.9	2.7	1.3	0.1
新 潟 市	7.6	10.0	2.3	1.0	△ 2.4
静 岡 市	7.6	10.5	2.0	1.3	△ 2.9
浜 松 市	8.4	9.6	2.6	0.8	△ 1.2
名 古 屋 市	8.5	9.0	2.4	0.9	△ 0.5
京 都 市	7.5	9.5	1.5	0.8	△ 2.0
大 阪 市	8.2	10.1	1.8	0.9	△ 1.9
堺 市	8.2	9.1	1.5	0.9	△ 0.9
神 戸 市	7.8	9.6	1.8	0.8	△ 1.9
岡 山 市	8.9	8.9	1.3	0.8	0.0
広 島 市	9.1	8.4	2.3	1.1	0.7
北 九 州 市	8.2	10.9	2.2	0.9	△ 2.7
福 岡 市	9.6	7.3	1.9	0.8	2.3
熊 本 市	9.5	8.7	0.7	0.6	0.8

注：1) 死産率は死産数を出産数（死産数に出生数を加えたもの）で除している。

2) 妊娠満22週以後の死産数に早期新生児死亡率を加えたものを出生数（妊娠満22週以後の死産数に出生数を加えたもの）で除している。

死産率 ¹⁾	自然死産率 (出 産 千 対)	人工死産率	周産期死亡率 ²⁾	婚 姻 率 (人 口 千 対)	離 婚 率 (人 口 千 対)	都 道 府 県 (21大都市)
22.9	10.6	12.3	3.7	5.1	1.77	全 国
28.8	12.1	16.8	4.0	4.8	2.04	北 海 道
27.5	11.9	15.6	3.2	4.2	1.67	青 森 県
23.6	13.0	10.6	5.2	4.3	1.45	岩 手 県
22.8	9.7	13.0	3.8	5.1	1.65	宮 城 県
26.6	13.8	12.8	5.3	3.7	1.40	秋 田 県
21.3	10.8	10.4	4.3	4.2	1.48	山 形 県
23.1	12.0	11.1	3.3	4.5	1.64	福 島 県
22.0	10.7	11.3	4.4	4.8	1.72	茨 城 県
22.6	9.7	12.9	4.3	5.0	1.70	栃 木 県
22.0	10.4	11.5	4.1	4.7	1.71	群 馬 県
24.2	11.7	12.5	4.0	4.9	1.75	埼 玉 県
23.9	12.5	11.3	4.3	5.0	1.74	千 葉 県
21.8	10.0	11.7	3.5	6.7	1.81	東 京 都
21.0	10.4	10.6	3.7	5.4	1.78	神 奈 川 県
23.2	11.3	11.9	4.7	4.3	1.38	新 潟 県
20.1	10.9	9.2	4.9	4.3	1.34	富 山 県
20.4	11.7	8.7	2.8	4.7	1.49	石 川 県
25.4	11.7	13.8	4.5	4.8	1.46	福 井 県
23.0	8.9	14.2	3.3	4.5	1.69	山 梨 県
21.1	9.9	11.1	3.1	4.6	1.57	山 長 野 県
20.3	9.3	10.9	4.6	4.5	1.58	岐 阜 県
21.5	11.5	10.0	4.2	4.9	1.76	静 岡 県
20.4	9.6	10.8	3.5	5.7	1.75	愛 知 県
21.9	11.3	10.7	4.3	4.8	1.73	三 重 県
17.3	9.3	8.0	3.7	5.0	1.60	滋 賀 県
22.3	10.4	11.8	3.6	4.9	1.74	京 都 府
22.6	10.1	12.4	3.5	5.4	2.05	大 阪 府
21.0	9.9	11.1	3.2	4.9	1.76	兵 庫 県
20.9	10.1	10.8	3.8	4.4	1.63	奈 良 県
20.3	8.4	11.9	3.9	4.6	1.98	和 歌 山 県
23.5	10.6	12.9	4.4	4.7	1.80	鳥 取 県
22.6	11.9	10.8	3.2	4.4	1.40	島 根 県
21.9	9.1	12.8	2.8	4.9	1.68	岡 山 県
19.3	8.7	10.6	3.0	5.1	1.73	山 口 県
20.3	9.6	10.7	4.1	4.4	1.62	山 口 県
22.9	13.3	9.6	4.0	4.4	1.67	徳 島 県
21.4	8.8	12.5	2.2	4.8	1.76	香 川 県
29.5	11.2	18.3	3.7	4.4	1.73	愛 媛 県
28.9	9.7	19.2	3.0	4.2	1.86	高 知 県
24.9	10.0	14.9	3.7	5.4	1.98	福 岡 県
22.1	10.1	12.0	3.6	4.7	1.59	佐 賀 県
26.0	11.5	14.5	3.7	4.4	1.68	長 崎 県
28.6	11.6	17.0	2.8	4.9	1.74	熊 本 県
27.0	9.8	17.2	3.3	4.6	1.72	大 宮 市
30.0	11.9	18.1	2.7	4.6	2.07	大 宮 市
26.7	10.6	16.1	3.3	4.7	1.82	鹿 児 島 県
29.3	13.8	15.5	4.0	6.0	2.53	沖 縄 県
21.7	10.0	11.7	3.5	7.3	1.85	(再 掲)
28.7	11.7	16.9	5.1	5.5	2.15	東 京 都 区 部
20.8	9.0	11.8	4.0	6.0	1.64	札 幌 市
21.2	9.0	12.1	3.5	5.3	1.61	仙 台 市
24.3	14.6	9.7	4.2	4.9	1.76	さい たま 市
20.2	10.2	10.0	3.6	5.4	1.73	千 葉 市
17.9	9.0	8.9	2.8	7.1	1.72	横 浜 市
23.0	9.9	13.1	4.0	5.0	1.90	川 崎 市
24.5	11.5	12.9	6.3	4.8	1.49	相 模 原 市
23.3	13.8	9.5	4.3	5.0	1.68	新 潟 市
19.8	11.5	8.3	3.9	5.1	1.70	静 岡 市
22.7	10.1	12.6	3.1	6.1	1.92	浜 松 市
22.8	10.1	12.6	4.1	5.3	1.80	名 古 屋 市
24.7	10.1	14.6	3.6	6.5	2.33	京 都 市
23.1	9.4	13.7	3.6	5.2	2.02	大 阪 市
21.0	9.0	12.0	3.2	5.1	1.85	堺 市
24.6	10.4	14.2	3.6	5.4	1.82	神 戸 市
20.5	8.6	11.9	2.7	5.6	1.80	岡 山 市
27.4	10.5	17.0	3.0	5.1	2.05	広 島 市
20.2	8.2	12.0	3.1	6.6	1.99	北 九 州 市
26.6	11.6	14.9	2.3	5.5	1.75	福 岡 市
						熊 本 市

第10表 主な死因の死亡数・死亡率(人口10万対), 都道府県(21大都市再掲)別

都道府県 (21大都市)	全死因		02100 悪性新生物		09200 心疾患		10200 肺炎		09300 脳血管疾患		18100 老衰	
	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率
全 国 ¹⁾	1 273 020	1 014.9	367 943	293.3	196 760	156.9	119 566	95.3	114 118	91.0	75 340	60.1
北海道	60 020	1 115.4	18 750	348.4	9 422	175.1	5 750	106.9	4 907	91.2	2 609	48.5
青森	17 042	1 293.0	5 001	379.4	2 584	196.1	1 741	132.1	1 746	132.5	985	74.7
岩手	16 273	1 271.3	4 306	336.4	2 809	219.5	1 442	112.7	2 077	162.3	923	72.1
宮城	22 855	986.8	6 537	282.3	3 525	152.2	1 755	75.8	2 391	103.2	1 733	74.8
秋田	15 093	1 459.7	4 211	407.3	2 266	219.1	1 377	133.2	1 644	159.0	962	93.0
山形	15 031	1 336.1	4 013	356.7	2 329	207.0	1 297	115.3	1 692	150.4	1 118	99.4
福島	23 496	1 218.7	6 125	317.7	4 151	215.3	1 993	103.4	2 527	131.1	1 578	81.8
茨城	30 341	1 053.1	8 637	299.8	4 762	165.3	3 033	105.3	3 046	105.7	1 897	65.8
栃木	20 756	1 062.2	5 708	292.1	3 380	173.0	1 978	101.2	2 194	112.3	1 316	67.3
群馬	21 442	1 104.7	5 839	300.8	3 481	179.3	2 302	118.6	1 967	101.3	1 250	64.4
埼玉	61 271	857.8	18 590	260.3	10 256	143.6	6 270	87.8	5 153	72.1	2 798	39.2
千葉	53 970	882.7	16 057	262.6	9 494	155.3	5 387	88.1	4 701	76.9	3 076	50.3
東京	111 014	851.1	33 800	259.1	16 885	129.4	9 721	74.5	9 380	71.9	6 190	47.5
神奈川	74 383	829.5	22 983	256.3	10 778	120.2	6 299	70.2	6 266	69.9	5 042	56.2
新潟	28 316	1 230.1	7 810	339.3	4 186	181.8	2 383	103.5	3 278	142.4	2 115	91.9
富山	12 584	1 188.3	3 558	336.0	1 740	164.3	1 241	117.2	1 238	116.9	823	77.7
石川	12 189	1 063.6	3 535	308.5	1 855	161.9	1 172	102.3	1 189	103.8	720	62.8
福井	8 818	1 130.5	2 405	308.3	1 454	186.4	843	108.1	797	102.2	529	67.8
山梨	9 755	1 175.3	2 565	309.0	1 363	164.2	870	104.8	973	117.2	796	95.9
長野	24 752	1 188.3	6 283	301.6	3 777	181.3	1 929	92.6	2 905	139.5	2 018	96.9
岐阜	21 659	1 078.6	6 013	299.5	3 511	174.9	1 897	94.5	1 937	96.5	1 525	75.9
静岡	38 343	1 050.2	10 485	287.2	5 470	149.8	3 046	83.4	4 034	110.5	3 316	90.8
愛知	62 425	855.4	18 517	253.7	8 478	116.2	5 233	71.7	5 278	72.3	4 026	55.2
三重	19 525	1 089.0	5 168	288.2	2 984	166.4	1 677	93.5	1 769	98.7	1 678	93.6
滋賀	12 266	878.0	3 596	257.4	2 007	143.7	1 100	78.7	1 011	72.4	654	46.8
京都	25 505	992.8	7 730	300.9	4 146	161.4	2 393	93.1	2 103	81.9	1 370	53.3
大阪	81 657	941.0	25 579	294.8	12 727	146.7	8 543	98.4	5 907	68.1	3 162	36.4
兵庫	54 145	990.2	16 268	297.5	8 133	148.7	4 834	88.4	4 417	80.8	3 095	56.6
奈良	13 834	1 012.0	4 075	298.1	2 454	179.5	1 357	99.3	1 100	80.5	741	54.2
和歌山	12 609	1 303.9	3 403	351.9	2 237	231.3	1 308	135.3	1 044	108.0	906	93.7
鳥取	7 075	1 239.1	2 046	358.3	1 052	184.2	586	102.6	671	117.5	575	100.7
島根	9 369	1 353.9	2 503	361.7	1 359	196.4	797	115.2	909	131.4	736	106.4
岡山	21 052	1 103.9	5 848	306.7	3 240	169.9	2 314	121.3	1 870	98.1	1 269	66.5
広島	29 465	1 051.9	8 294	296.1	4 848	173.1	2 762	98.6	2 408	86.0	1 978	70.6
山口	17 912	1 282.2	4 775	341.8	2 977	213.1	2 045	146.4	1 660	118.8	1 103	79.0
徳島	9 853	1 296.4	2 469	324.9	1 543	203.0	1 085	142.8	825	108.6	643	84.6
香川	11 503	1 181.0	3 067	314.9	2 073	212.8	839	86.1	925	95.0	734	75.4
愛媛	17 529	1 262.9	4 525	326.0	3 331	240.0	1 565	112.8	1 493	107.6	1 228	88.5
高知	9 983	1 358.2	2 555	347.6	1 746	237.6	1 161	158.0	956	130.1	462	62.9
福岡	49 319	977.4	15 082	298.9	5 664	112.2	5 041	99.9	3 973	78.7	1 987	39.4
佐賀	9 732	1 171.1	2 798	336.7	1 387	166.9	1 091	131.3	880	105.9	453	54.5
長崎	17 091	1 238.5	4 927	357.0	2 562	185.7	1 808	131.0	1 378	99.9	863	62.5
熊本	20 462	1 146.3	5 497	308.0	3 135	175.6	1 958	109.7	1 774	99.4	1 290	72.3
大分	14 065	1 209.4	3 835	329.8	2 054	176.6	1 441	123.9	1 282	110.2	733	63.0
宮崎	13 111	1 181.2	3 469	312.5	2 240	201.8	1 386	124.9	1 301	117.2	654	58.9
鹿児島	21 413	1 288.4	5 544	333.6	3 145	189.2	2 541	152.9	2 164	130.2	1 104	66.4
沖縄	11 360	805.1	2 963	210.0	1 602	113.5	897	63.6	892	63.2	572	40.5
外国	165	・	27	・	18	・	10	・	6	・	1	・
(再掲)												
東京都区部	75 613	827.0	23 178	253.5	11 340	124.0	6 381	69.8	6 308	69.0	4 152	45.4
札幌市	17 668	909.3	5 780	297.5	2 388	122.9	1 596	82.1	1 388	71.4	626	32.2
仙台市	8 266	770.4	2 559	238.5	1 158	107.9	592	55.2	755	70.4	608	56.7
さいたま市	9 579	760.2	2 924	232.1	1 495	118.7	901	71.5	791	62.8	519	41.2
千葉市	7 800	807.5	2 365	244.8	1 282	132.7	796	82.4	678	70.2	367	38.0
横浜市	30 037	809.6	9 386	253.0	4 339	117.0	2 477	66.8	2 366	63.8	2 107	56.8
川崎市	10 133	693.6	3 193	218.5	1 419	97.1	883	60.4	879	60.2	561	38.4
相模原市	5 460	755.2	1 709	236.4	873	120.7	535	74.0	486	67.2	284	39.3
新潟市	8 080	1 000.0	2 360	292.1	1 237	153.1	729	90.2	867	107.3	440	54.5
静岡市	7 393	1 045.7	2 069	292.6	1 127	159.4	549	77.7	754	106.6	592	83.7
浜松市	7 623	963.7	1 968	248.8	1 069	135.1	537	67.9	850	107.5	871	110.1
名古屋	20 386	895.3	6 111	268.4	2 776	121.9	1 744	76.6	1 547	67.9	1 196	52.5
京都市	13 922	947.7	4 341	295.5	2 276	154.9	1 328	90.4	1 109	75.5	697	47.4
大阪市	27 139	1 010.4	8 142	303.1	3 676	136.9	2 970	110.6	2 114	78.7	960	35.7
堺市	7 648	910.5	2 450	291.7	1 184	141.0	830	98.8	526	62.6	345	41.1
神戸市	14 829	964.2	4 636	301.4	2 128	138.4	1 296	84.3	1 031	67.0	810	52.7
岡山市	6 389	893.6	1 877	262.5	955	133.6	613	85.7	574	80.3	381	53.3
広島市	9 951	839.0	2 954	249.1	1 585	133.6	821	69.2	793	66.9	630	53.1
北九州市	10 511	1 091.5	3 254	337.9	1 225	127.2	1 017	105.6	912	94.7	398	41.3
福岡市	11 052	727.6	3 596	236.7	1 186	78.1	1 006	66.2	799	52.6	417	27.5
熊本市	6 419	867.4	1 883	254.5	937	126.6	546	73.8	503	68.0	374	50.5

注: 1) 全国値には、住所地不詳を含む。

20100 不慮の事故		14200 腎不全		20200 自殺		09400 大動脈瘤及びび離解		10400 慢性閉塞性肺疾患(COPD)		(参考) 04100 糖尿病		都道府県 (21大都市)
死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	
39 011	31.1	24 747	19.7	24 398	19.5	16 403	13.1	16 160	12.9	13 647	10.9	全 国 ¹⁾
1 508	28.0	1 542	28.7	1 077	20.0	787	14.6	705	13.1	668	12.4	北 海 道
560	42.5	446	33.8	270	20.5	194	14.7	189	14.3	236	17.9	青 森
524	40.9	332	25.9	341	26.6	181	14.1	191	14.9	182	14.2	岩 手
677	29.2	406	17.5	455	19.6	305	13.2	278	12.0	251	10.8	宮 城
500	48.4	272	26.3	269	26.0	182	17.6	123	11.9	182	17.6	秋 田
496	44.1	317	28.2	243	21.6	214	19.0	196	17.4	130	11.6	山 形
774	40.1	439	22.8	421	21.8	317	16.4	332	17.2	295	15.3	福 島
865	30.0	573	19.9	568	19.7	401	13.9	417	14.5	381	13.2	茨 城
555	28.4	379	19.4	391	20.0	270	13.8	277	14.2	233	11.9	栃 木
755	38.9	404	20.8	396	20.4	311	16.0	327	16.8	225	11.6	群 馬
1 516	21.2	1 143	16.0	1 334	18.7	681	9.5	729	10.2	702	9.8	埼 玉
1 366	22.3	905	14.8	1 215	19.9	692	11.3	595	9.7	596	9.7	千 葉
2 689	20.6	1 858	14.2	2 439	18.7	1 695	13.0	1 333	10.2	1 215	9.3	東 京
2 616	29.2	1 110	12.4	1 552	17.3	1 102	12.3	950	10.6	676	7.5	神 奈 川
971	42.2	447	19.4	542	23.5	295	12.8	315	13.7	290	12.6	新 潟
528	49.9	191	18.0	241	22.8	160	15.1	141	13.3	136	12.8	富 山
450	39.3	187	16.3	180	15.7	167	14.6	159	13.9	113	9.9	石 川
364	46.7	202	25.9	133	17.1	83	10.6	95	12.2	125	16.0	福 井
364	43.9	208	25.1	183	22.0	139	16.7	138	16.6	135	16.3	山 梨
810	38.9	370	17.8	436	20.9	372	17.9	338	16.2	269	12.9	長 野
767	38.2	443	22.1	408	20.3	284	14.1	260	12.9	208	10.4	岐 阜
1 184	32.4	801	21.9	673	18.4	533	14.6	494	13.5	485	13.3	静 岡
1 888	25.9	1 103	15.1	1 290	17.7	869	11.9	640	8.8	549	7.5	愛 知
704	39.3	404	22.5	310	17.3	281	15.7	241	13.4	206	11.5	三 重
459	32.9	279	20.0	254	18.2	178	12.7	175	12.5	112	8.0	滋 賀
543	21.1	538	20.9	449	17.5	298	11.6	364	14.2	254	9.9	京 都
2 253	26.0	1 738	20.0	1 731	19.9	769	8.9	1 017	11.7	889	10.2	大 阪
1 723	31.5	1 124	20.6	1 080	19.8	610	11.2	775	14.2	602	11.0	兵 庫
321	23.5	248	18.1	234	17.1	161	11.8	190	13.9	132	9.7	奈 良
366	37.8	285	29.5	167	17.3	153	15.8	185	19.1	111	11.5	和 歌 山
225	39.4	142	24.9	109	19.1	107	18.7	77	13.5	95	16.6	鳥 取
346	50.0	161	23.3	141	20.4	124	17.9	128	18.5	72	10.4	島 根
749	39.3	426	22.3	324	17.0	229	12.0	272	14.3	205	10.7	岡 山
1 061	37.9	655	23.4	542	19.4	358	12.8	353	12.6	318	11.4	広 島
483	34.6	345	24.7	267	19.1	239	17.1	219	15.7	149	10.7	山 口
335	44.1	218	28.7	151	19.9	80	10.5	156	20.5	113	14.9	徳 島
366	37.6	243	24.9	169	17.4	102	10.5	162	16.6	116	11.9	香 川
639	46.0	363	26.2	284	20.5	186	13.4	213	15.3	177	12.8	愛 媛
386	52.5	231	31.4	159	21.6	111	15.1	132	18.0	92	12.5	高 知
1 752	34.7	920	18.2	992	19.7	709	14.1	616	12.2	597	11.8	福 岡
308	37.1	174	20.9	141	17.0	132	15.9	146	17.6	105	12.6	佐 賀
568	41.2	351	25.4	268	19.4	253	18.3	261	18.9	150	10.9	長 崎
637	35.7	449	25.2	332	18.6	325	18.2	273	15.3	183	10.3	熊 本
483	41.5	283	24.3	205	17.6	156	13.4	228	19.6	130	11.2	大 分
419	37.7	276	24.9	265	23.9	157	14.1	199	17.9	128	11.5	宮 崎
741	44.6	560	33.7	355	21.4	301	18.1	344	20.7	232	14.0	鹿 児 島
332	23.5	243	17.2	287	20.3	139	9.9	203	14.4	186	13.2	沖 縄
5	・	1	・	8	・	-	・	-	・	3	・	外 国
1 967	21.5	1 273	13.9	1 704	18.6	1 102	12.1	938	10.3	881	9.6	(再 掲) 東京都区部
418	21.5	399	20.5	343	17.7	223	11.5	182	9.4	202	10.4	札 幌 市
240	22.4	136	12.7	185	17.2	134	12.5	101	9.4	100	9.3	仙 台 市
217	17.2	176	14.0	216	17.1	84	6.7	98	7.8	87	6.9	さいたま市
203	21.0	117	12.1	169	17.5	104	10.8	86	8.9	93	9.6	千 葉 市
1 093	29.5	453	12.2	595	16.0	450	12.1	368	9.9	231	6.2	横 浜 市
346	23.7	150	10.3	246	16.8	151	10.3	144	9.9	112	7.7	川 崎 市
161	22.3	75	10.4	122	16.9	77	10.7	72	10.0	29	4.0	相 模 原 市
244	30.2	148	18.3	152	18.8	96	11.9	79	9.8	75	9.3	新 潟 市
206	29.1	124	17.5	126	17.8	87	12.3	99	14.0	85	12.0	静 岡 市
203	25.7	156	19.7	146	18.5	111	14.0	69	8.7	97	12.3	浜 松 市
560	24.6	364	16.0	410	18.0	338	14.8	191	8.4	181	7.9	名 古 屋 市
258	17.6	266	18.1	248	16.9	182	12.4	167	11.4	128	8.7	京 都 市
840	31.3	570	21.2	644	24.0	287	10.7	385	14.3	318	11.8	大 阪 市
193	23.0	173	20.6	162	19.3	48	5.7	106	12.6	64	7.6	堺 市
513	33.4	255	16.6	308	20.0	177	11.5	211	13.7	165	10.7	堺 市
196	27.4	132	18.5	102	14.3	70	9.8	75	10.5	75	10.5	神 戸 市
367	30.9	200	16.9	232	19.6	131	11.0	114	9.6	110	9.3	岡 山 市
353	36.7	218	22.6	179	18.6	142	14.7	122	12.7	117	12.1	広 島 市
383	25.2	168	11.1	292	19.2	167	11.0	127	8.4	149	9.8	北 九 州 市
158	21.4	137	18.5	117	15.8	109	14.7	72	9.7	60	8.1	福 岡 市
												熊 本 市

合計特殊出生率について

1. 期間合計特殊出生率とコーホート合計特殊出生率

○ 合計特殊出生率は「15～49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもの」で、次の2つの種類があり、一人の女性がその年齢別出生率で一生の間に生むとしたときの子どもの数に相当する。

A 「期間」合計特殊出生率

ある期間（1年間）の出生状況に着目したもので、その年における各年齢（15～49歳）の女性の出生率を合計したもの。

女性人口の年齢構成の違いを除いた「その年の合計特殊出生率」であり、年次比較、国際比較、地域比較に用いられている。

B 「コーホート」合計特殊出生率

ある世代の出生状況に着目したもので、同一世代生まれ（コーホート）の女性の各年齢（15～49歳）の出生率を過去から積み上げたもの。

「その世代の合計特殊出生率」である。

○ 実際に「一人の女性が一生の間に生む子どもの数」はBのコーホート合計特殊出生率であるが、この値はその世代が50歳に到達するまで得られないため、それに相当するものとしてAの期間合計特殊出生率が一般に用いられている。

なお、各年齢別の出生率が世代（コーホート）によらず同じであれば、この二つの「合計特殊出生率」は同じ値になる。

○ ただし、晩婚化・晩産化が進行している状況等、各世代の結婚や出産の行動に違いがあり、各年齢の出生率が世代により異なる場合には、別々の世代の年齢別出生率の合計であるAの期間合計特殊出生率は、同一世代の年齢別出生率の合計であるBのコーホート合計特殊出生率の値と異なることに注意が必要である。

2. 平成26年における状況

コーホート合計特殊出生率は同一世代の女性の出生率を過去から積み上げるため、その世代が50歳になるまで得られないが、現段階で得られる到達年齢までのコーホート合計特殊出生率を、5歳階級ごとに1つの世代とみて、5年ごとの出生率を合計し、算出した^{*)}。

例えば1975～1979年生まれ（平成26年における35～39歳の世代）についての39歳までのコーホート合計特殊出生率は1.40であるが、40歳以降も出産するので、実際にこの世代の「一人の女性が一生の間に生む子どもの数」は、1.40に今後の40歳以上での出生率を加えた値となり、晩産化の進行により40歳以上の出生率（平成26年0.0530）が上昇傾向であることから、少なくとも平成26年の期間合計特殊出生率（1.42）を上回ると見込まれる。

*) 各年の各年齢別出生率を合計したより精密なコーホート合計特殊出生率は国立社会保障・人口問題研究所で算出されている。

① 期間合計特殊出生率の年次推移(年齢階級別内訳)

	昭和59年 (1984)	平成元年 (1989)	平成6年 (1994)	11年 (1999)	16年 (2004)	21年 (2009)	平成26年 (2014)
母の年齢	1.81	1.57	1.50	1.34	1.29	1.37	1.42
15～19歳	0.0233	0.0182	0.0189	0.0242	0.0275	0.0249	0.0224
20～24	0.3418	0.2437	0.2144	0.1904	0.1859	0.1779	0.1487
25～29	0.9229	0.7342	0.6333	0.5012	0.4388	0.4320	0.4204
30～34	0.4325	0.4619	0.4882	0.4583	0.4364	0.4755	0.5033
35～39	0.0812	0.1029	0.1307	0.1501	0.1755	0.2217	0.2747
40～44	0.0091	0.0106	0.0142	0.0177	0.0239	0.0354	0.0516
45～49	0.0003	0.0003	0.0004	0.0005	0.0006	0.0009	0.0014

② 各世代別(コホート)にみた母の年齢階級別出生率(ごく粗い計算)

	1965-1969	1970-1974	1975-1979	1980-1984	1985-1989	1990-1994	1995-1999
母の年齢	45～49歳の世代	40～44歳の世代	35～39歳の世代	30～34歳の世代	25～29歳の世代	20～24歳の世代	15～19歳の世代
15～19歳	0.0233	0.0182	0.0189	0.0242	0.0275	0.0249	0.0224
20～24	0.2437	0.2144	0.1904	0.1859	0.1779	0.1487	
25～29	0.6333	0.5012	0.4388	0.4320	0.4204		
30～34	0.4583	0.4364	0.4755	0.5033			
35～39	0.1755	0.2217	0.2747				
40～44	0.0354	0.0516					
45～49	0.0014						
コホート 合計特殊出生率	1.57	1.44	1.40	1.15	0.63	0.17	0.02

③ コホート合計特殊出生率(母の到達年齢別)(ごく粗い計算)

	1965-1969	1970-1974	1975-1979	1980-1984	1985-1989	1990-1994	1995-1999
母の年齢	45～49歳の世代	40～44歳の世代	35～39歳の世代	30～34歳の世代	25～29歳の世代	20～24歳の世代	15～19歳の世代
15～19歳	0.02	0.02	0.02	0.02	0.03	0.02	0.02
15～24	0.27	0.23	0.21	0.21	0.21	0.17	
15～29	0.90	0.73	0.65	0.64	0.63		
15～34	1.36	1.17	1.12	1.15			
15～39	1.53	1.39	1.40				
15～44	1.57	1.44					
15～49	1.57						

注：「15～19歳の世代」は平成7～11年生まれ、「20～24歳の世代」は平成2年～6年生まれ、
「25～29歳の世代」は昭和60～平成元年生まれ、「30～34歳の世代」は昭和55～59年生まれ、
「35～39歳の世代」は昭和50～54年生まれ、「40～44歳の世代」は昭和45～49年生まれ、
「45～49歳の世代」は昭和40～44年生まれ。

出生数の動向と(期間)合計特殊出生率の動向の関係

- 出生数は、次の式のように「女性人口（15～49歳）」と「(期間)合計特殊出生率」、
「(15～49歳女性人口の)年齢構成の違い」の3つの要素に分解できる。以下、この3要素を
「女性人口」、「合計特殊出生率」、「年齢構成の違い」とする。

$$\text{出生数} = \text{女性人口 (15～49歳)} \times \frac{\text{(期間)合計特殊出生率}}{35^{1)}} \times \text{(15～49歳女性人口の)年齢構成の違い}^{2)}$$

出生数がこのように3要素に分解できることから、出生数の動向は、「合計特殊出生率」の動向だけでなく、「女性人口」と「年齢構成の違い」の動向の影響を受ける。

平成25年	103.0万人	=	2,591万人	×	$\frac{1.43}{35}$	×	0.975
	↓ △2.6%		↓ △1.0%		↓ △0.3%		↓ △1.3%
平成26年	100.4万人	=	2,567万人	×	$\frac{1.42}{35}$	×	0.962

※平成25年の合計特殊出生率を用いると、平成26年の出生数は前年より△2.3%であったと見込まれる。

平成25年から26年の動向をみると、出生数の減少は「年齢構成の違い」の低下や「女性人口」の減少が影響していることが分かる。

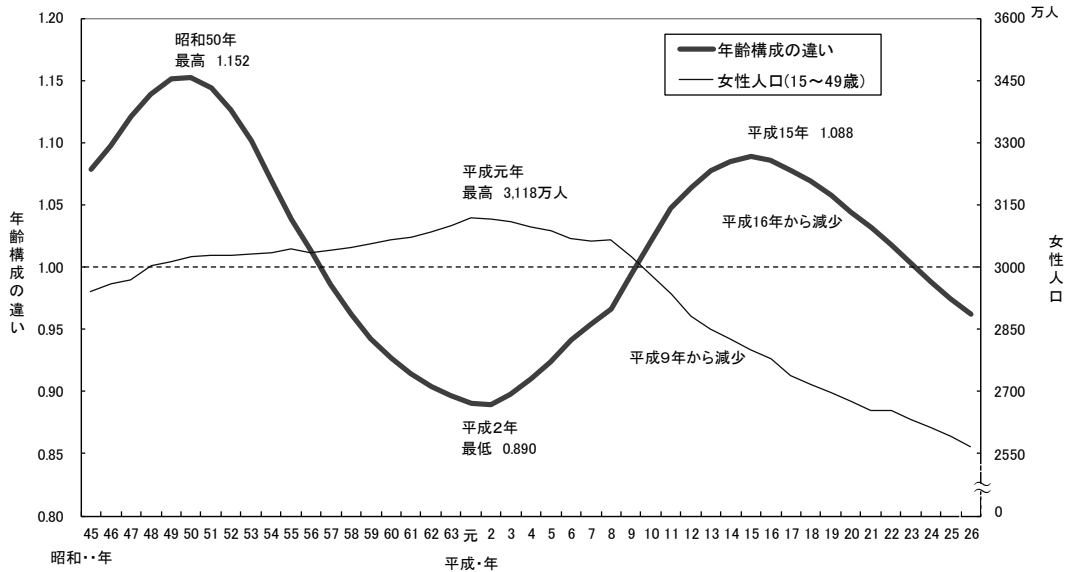
同様に、昭和45年以降の3要素の動向をみると次頁の通りであるが、

- (1) 「女性人口」は平成9年から減少傾向にある。
- (2) 「合計特殊出生率」は、平成17年まで低下傾向で推移したが、平成18年に上昇傾向に転じた。
- (3) 「年齢構成の違い」は、昭和51年、平成3年、16年を境に増減を繰り返し、16年以降は低下傾向にある。

「女性人口」の減少傾向と「年齢構成の違い」の低下傾向は今後も続くことから、「合計特殊出生率」が変わらなければ、出生数は今後も減少することになる。

- 注：1) (期間)合計特殊出生率は15～49までの35個の年齢別出生率を加えたものであるため、女性人口（15～49歳）を乗じて出生数となるように35で除している。
- 2) 「年齢構成の違い」は、「女性人口」×「合計特殊出生率」／35が「15～49歳のどの年齢の女性の人数も同じとした場合に当該合計特殊出生率で見込まれる出生数」となることから、「実際の年齢構成がどの年齢の女性の人数も同じという年齢構成とどのくらい違うか表すもの」である。出生率の高い年齢層に女性の人数が相対的に多くなっている場合には、「年齢構成の違い」は概ね1より大きくなる。

「女性人口(15~49歳)」と「年齢構成の違い」の動向



(期間) 合計特殊出生率を用いた出生数の構造分析

年次	実 数				対前年増減率 (%)			
	出生数 ①×②/35×③	女性人口 (15~49歳) (千人) ①	合計特殊 出生率 ②	年齢構成 の違い ③	出生数	女性人口 (15~49歳) (千人) ①	合計特殊 出生率 ②	年齢構成 の違い ③
昭和 45年	1 934 239	29 400	2.13	1.079
46	2 000 973	29 589	2.16	1.097	3.5	0.6	1.1	1.7
47	2 038 682	29 700	2.14	1.122	1.9	0.4	△ 0.7	2.2
48	2 091 983	30 035	2.14	1.139	2.6	1.1	△ 0.1	1.6
49	2 029 989	30 128	2.05	1.151	△ 3.0	0.3	△ 4.3	1.1
50	1 901 440	30 251	1.91	1.152	△ 6.3	0.4	△ 6.8	0.1
51	1 832 617	30 271	1.85	1.144	△ 3.6	0.1	△ 3.0	△ 0.7
52	1 755 100	30 289	1.80	1.126	△ 4.2	0.1	△ 2.8	△ 1.6
53	1 708 643	30 319	1.79	1.101	△ 2.6	0.1	△ 0.5	△ 2.2
54	1 642 580	30 351	1.77	1.071	△ 3.9	0.1	△ 1.2	△ 2.8
55	1 576 889	30 438	1.75	1.038	△ 4.0	0.3	△ 1.3	△ 3.0
56	1 529 455	30 333	1.74	1.013	△ 3.0	△ 0.3	△ 0.3	△ 2.4
57	1 515 392	30 404	1.77	0.986	△ 0.9	0.2	1.6	△ 2.7
58	1 508 687	30 463	1.80	0.963	△ 0.4	0.2	1.7	△ 2.3
59	1 489 780	30 549	1.81	0.942	△ 1.3	0.3	0.6	△ 2.1
60	1 431 577	30 644	1.76	0.927	△ 3.9	0.3	△ 2.6	△ 1.6
61	1 382 946	30 726	1.72	0.914	△ 3.4	0.3	△ 2.3	△ 1.4
62	1 346 658	30 834	1.69	0.904	△ 2.6	0.4	△ 1.9	△ 1.1
63	1 314 006	30 983	1.66	0.896	△ 2.4	0.5	△ 2.0	△ 0.9
平成 元年	1 246 802	31 177	1.57	0.890	△ 5.1	0.6	△ 5.1	△ 0.6
2	1 221 585	31 154	1.54	0.890	△ 2.0	△ 0.1	△ 1.9	△ 0.1
3	1 223 245	31 094	1.53	0.897	0.1	△ 0.2	△ 0.5	0.9
4	1 208 989	30 974	1.50	0.910	△ 1.2	△ 0.4	△ 2.1	1.4
5	1 188 282	30 865	1.46	0.924	△ 1.7	△ 0.4	△ 2.9	1.6
6	1 238 328	30 681	1.50	0.942	4.2	△ 0.6	2.9	1.9
7	1 187 064	30 614	1.42	0.954	△ 4.1	△ 0.2	△ 5.2	1.3
8	1 206 555	30 651	1.43	0.967	1.6	0.1	0.2	1.3
9	1 191 665	30 249	1.39	0.993	△ 1.2	△ 1.3	△ 2.6	2.8
10	1 203 147	29 809	1.38	1.021	1.0	△ 1.5	△ 0.3	2.8
11	1 177 669	29 330	1.34	1.047	△ 2.1	△ 1.6	△ 3.0	2.6
12	1 190 547	28 821	1.36	1.064	1.1	△ 1.7	1.3	1.6
13	1 170 662	28 513	1.33	1.077	△ 1.7	△ 1.1	△ 1.9	1.3
14	1 153 855	28 240	1.32	1.085	△ 1.4	△ 1.0	△ 1.1	0.7
15	1 123 610	27 998	1.29	1.088	△ 2.6	△ 0.9	△ 2.1	0.4
16	1 110 721	27 773	1.29	1.086	△ 1.1	△ 0.8	△ 0.1	△ 0.2
17	1 062 530	27 385	1.26	1.078	△ 4.3	△ 1.4	△ 2.2	△ 0.8
18	1 092 674	27 165	1.32	1.069	2.8	△ 0.8	4.5	△ 0.8
19	1 089 818	26 982	1.34	1.057	△ 0.3	△ 0.7	1.5	△ 1.1
20	1 091 156	26 757	1.37	1.044	0.1	△ 0.8	2.2	△ 1.2
21	1 070 035	26 531	1.37	1.032	△ 1.9	△ 0.8	0.1	△ 1.2
22	1 071 304	26 535	1.39	1.019	0.1	0.0	1.4	△ 1.3
23	1 050 806	26 337	1.39	1.002	△ 1.9	△ 0.7	0.4	△ 1.6
24	1 037 231	26 135	1.41	0.988	△ 1.3	△ 0.8	0.9	△ 1.4
25	1 029 816	25 915	1.43	0.975	△ 0.7	△ 0.8	1.5	△ 1.4
26	1 003 532	25 667	1.42	0.962	△ 2.6	△ 1.0	△ 0.3	△ 1.3

注：1) 「女性人口(15~49歳)」の転換年は平成9年
 2) 「合計特殊出生率」の転換年は昭和49年、平成18年
 3) 「年齢構成の違い」の転換年は昭和51年、平成3年、平成16年

人口動態総覧（率）の国際比較

国名	出生率 (人口千対)		死亡率 (人口千対)		乳児死亡率 (出生千対)		婚姻率 (人口千対)		離婚率 (人口千対)		合計特殊 出生率	
	年	率	年	率	年	率	年	率	年	率		
日本	2014)	*8.0	'14)	*10.1	'14)	*2.1	'14)	*5.1	'14)	*1.77	'14)	*1.42
韓国	'14)	*8.6	'14)	*5.3	…	…	'14)	6.0	'14)	2.3	'14)	*1.21
シンガポール	'13)	10.3	'13)	4.9	'13)	2.4	'13)	6.8	'13)	1.86	'13)	1.19
アメリカ	'13)	12.4	'13)	8.2	'13)	6.0	'12)	6.8	'12)	3.4	'13)	1.86
フランス	'13)	*12.2	'13)	*8.8	'12)	3.3	'12)	3.8	'12)	1.97	'13)	1.99
ドイツ	'13)	8.5	'13)	11.1	'12)	3.3	'12)	4.7	'12)	2.19	'13)	1.40
イタリア	'13)	*8.5	'13)	*10.0	'12)	*3.2	'12)	*3.5	'11)	0.91	'13)	1.39
スウェーデン	'13)	11.8	'13)	9.4	'12)	2.6	'12)	5.3	'12)	2.46	'13)	1.89
イギリス	'13)	*12.2	'13)	*9.0	'12)	4.1	'11)	*4.5	'11)	2.05	'13)	1.83

注：*印は暫定値である。

資料：(1) UN, Demographic Yearbook

(2) U.S. Department of Health and Human Services, National Vital Statistics Reports

(3) Eurostat, Population and Social Conditions

(4) 韓国統計庁資料

分母に用いた人口

① 年齢5歳階級・男女別（日本人人口）

年齢階級	総数	男	女
	人	人	人
総数	125 431 000	61 041 000	64 391 000
0～4歳	5 157 000	2 644 000	2 513 000
5～9	5 261 000	2 692 000	2 569 000
10～14	5 669 000	2 904 000	2 765 000
15～19	5 924 000	3 034 000	2 890 000
20～24	5 989 000	3 076 000	2 913 000
25～29	6 462 000	3 304 000	3 158 000
30～34	7 279 000	3 703 000	3 576 000
35～39	8 513 000	4 328 000	4 185 000
40～44	9 644 000	4 898 000	4 747 000
45～49	8 477 000	4 279 000	4 199 000
50～54	7 688 000	3 860 000	3 828 000
55～59	7 580 000	3 769 000	3 810 000
60～64	8 920 000	4 379 000	4 542 000
65～69	9 107 000	4 391 000	4 716 000
70～74	7 893 000	3 674 000	4 220 000
75～79	6 244 000	2 758 000	3 487 000
80～84	4 855 000	1 938 000	2 916 000
85～89	3 054 000	1 027 000	2 028 000
90～94	1 302 000	311 000	990 000
95～99	351 000	62 000	289 000
100～	60 000	8 000	51 000

資料：「人口推計（平成26年10月1日現在）」（総務省統計局）

② 都道府県・男女別人口（日本人人口）

都道府県	総数	男	女
全 国	125 431 000	61 041 000	64 391 000
北海道	5 381 000	2 537 000	2 844 000
青森	1 318 000	619 000	699 000
岩手	1 280 000	613 000	667 000
宮城	2 316 000	1 129 000	1 187 000
秋田	1 034 000	485 000	549 000
山形	1 125 000	542 000	584 000
福島	1 928 000	942 000	986 000
茨城	2 881 000	1 437 000	1 445 000
栃木	1 954 000	972 000	982 000
群馬	1 941 000	956 000	984 000
埼玉	7 143 000	3 578 000	3 565 000
千葉	6 114 000	3 046 000	3 068 000
東京都	13 044 000	6 443 000	6 600 000
神奈川県	8 967 000	4 488 000	4 478 000
新潟	2 302 000	1 115 000	1 187 000
富山	1 059 000	512 000	548 000
石川	1 146 000	555 000	591 000
福井	780 000	378 000	402 000
山梨	830 000	407 000	423 000
長野	2 083 000	1 015 000	1 069 000
岐阜	2 008 000	973 000	1 035 000
静岡県	3 651 000	1 798 000	1 853 000
愛知	7 298 000	3 651 000	3 647 000
三重	1 793 000	874 000	920 000
滋賀	1 397 000	689 000	707 000
京都	2 569 000	1 232 000	1 338 000
大阪	8 678 000	4 183 000	4 495 000
兵庫	5 468 000	2 611 000	2 857 000
奈良	1 367 000	645 000	722 000
和歌山	967 000	455 000	512 000
鳥取	571 000	273 000	298 000
島根	692 000	332 000	360 000
岡山	1 907 000	916 000	991 000
広島	2 801 000	1 352 000	1 449 000
山口	1 397 000	660 000	737 000
徳島	760 000	362 000	398 000
香川	974 000	470 000	504 000
愛媛	1 388 000	654 000	734 000
高知	735 000	345 000	389 000
福岡	5 046 000	2 381 000	2 665 000
佐賀	831 000	392 000	439 000
長崎	1 380 000	645 000	735 000
熊本	1 785 000	840 000	945 000
大分	1 163 000	550 000	613 000
宮崎	1 110 000	522 000	588 000
鹿児島	1 662 000	778 000	883 000
沖縄	1 411 000	692 000	720 000

資料：「人口推計（平成26年10月1日現在）」（総務省統計局）

21大都市・男女別人口（総人口）

21大都市 (再掲)	総数	男	女
東京都区部	9 143 000	4 501 000	4 642 000
札幌市	1 943 000	906 000	1 037 000
仙台市	1 073 000	522 000	551 000
さいたま市	1 260 000	629 000	631 000
千葉市	966 000	481 000	485 000
横浜市	3 710 000	1 850 000	1 860 000
川崎市	1 461 000	742 000	719 000
相模原市	723 000	362 000	361 000
新潟市	808 000	388 000	420 000
静岡市	707 000	344 000	363 000
浜松市	791 000	392 000	399 000
名古屋市	2 277 000	1 121 000	1 155 000
京都市	1 469 000	698 000	772 000
大阪市	2 686 000	1 303 000	1 383 000
堺市	840 000	403 000	437 000
神戸市	1 538 000	725 000	813 000
岡山市	715 000	344 000	371 000
広島市	1 186 000	571 000	615 000
北九州市	963 000	453 000	510 000
福岡市	1 519 000	718 000	802 000
熊本市	740 000	347 000	393 000

資料：各指定都市及び東京都が推計した平成26年10月1日現在の総人口である。

(付表)
年齢調整死亡率の算出に用いた人口
基準人口（昭和60年モデル人口）

年齢階級	基準人口	年齢階級	基準人口
0～4歳	8 180 000	50～54歳	7 616 000
5～9	8 338 000	55～59	6 581 000
10～14	8 497 000	60～64	5 546 000
15～19	8 655 000	65～69	4 511 000
20～24	8 814 000	70～74	3 476 000
25～29	8 972 000	75～79	2 441 000
30～34	9 130 000	80～84	1 406 000
35～39	9 289 000	85歳以上	784 000
40～44	9 400 000		
45～49	8 651 000	総数	120 287 000

③ 年齢5歳階級別人口（日本人人口）の対前年比較

年齢階級	平成26年	平成25年	対前年増減
	人	人	人
総数	125 431 000	125 704 000	△ 273 000
0～4歳	5 157 000	5 188 000	△ 31 000
5～9	5 261 000	5 317 000	△ 56 000
10～14	5 669 000	5 746 000	△ 77 000
15～19	5 924 000	5 973 000	△ 49 000
20～24	5 989 000	6 004 000	△ 15 000
25～29	6 462 000	6 665 000	△ 203 000
30～34	7 279 000	7 434 000	△ 155 000
35～39	8 513 000	8 908 000	△ 395 000
40～44	9 644 000	9 517 000	127 000
45～49	8 477 000	8 279 000	198 000
50～54	7 688 000	7 637 000	51 000
55～59	7 580 000	7 658 000	△ 78 000
60～64	8 920 000	9 608 000	△ 688 000
65～69	9 107 000	8 654 000	453 000
70～74	7 893 000	7 562 000	331 000
75～79	6 244 000	6 278 000	△ 34 000
80～84	4 855 000	4 748 000	107 000
85～89	3 054 000	2 918 000	136 000
90～94	1 302 000	1 213 000	89 000
95～99	351 000	342 000	9 000
100～	60 000	55 000	5 000

資料：「人口推計（各年10月1日現在）」（総務省統計局）

④ 年齢5歳階級別人口（日本人女性人口）の対前年比較

年齢階級	平成26年	平成25年	対前年増減
	人	人	人
15～19歳	2 889 796	2 911 296	△ 21 500
20～24	2 912 741	2 923 189	△ 10 448
25～29	3 158 262	3 260 522	△ 102 260
30～34	3 576 357	3 652 260	△ 75 903
35～39	4 184 542	4 378 797	△ 194 255
40～44	4 746 688	4 687 310	59 378
45～49	4 198 779	4 101 261	97 518
計	25 667 165	25 914 635	△ 247 470

資料：「人口推計（各年10月1日現在）」（総務省統計局）

○本冊子は、グリーン購入法（国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律）に基づく基本方針の判断の基準を満たす紙を使用しています。

○リサイクル適正の表示：紙へリサイクル可

本冊子は、グリーン購入法に基づく基本方針における「印刷」に係る判断の基準にしたがい、印刷用の紙へのリサイクルに適した材料〔Aランク〕のみを用いて作製しています。